

令和4年度事業報告書



「やさしさ」を抱きしめよう

社会福祉法人西予市社会福祉協議会

目 次

・ 令和 4 年度 西予市社会福祉協議会 事業報告	1
・ 令和 4 年度 事業報告項目	
本所（含む野村業務）	27
明浜支所	35
宇和支所	38
城川支所	43
三瓶支所	47
・ 令和 4 年度 西予市地域包括支援センター 事業報告	50

令和4年度 西予市社会福祉協議会 事業報告

I 総括

急速な少子高齢化の進展、家族形態の変化、雇用形態の多様化等に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大は、人々の生活様式、価値観、そして地域活動に多大な影響をもたらしました。

コロナ禍においては、私たちの生活環境・生活習慣は大きく変化し、地域における関係性がこれまで以上に希薄となり、また、労働環境の変化による新たな生活困窮に伴うニーズの発生など、地域課題・生活課題は多様化、複雑化しています。

このような社会情勢の中、西予市社会福祉協議会では『みんながささえあいぐらして安心が体感できるまちづくり』の基本理念のもと、地域福祉を推進する中核的な団体として、直面する生活課題に対応し、誰もが住み慣れた家庭や地域で自分らしく暮らしていくことができるよう、新型コロナウイルス感染拡大の状況を適宜とらえながら、事業の周知や進め方に工夫を重ね、民生委員・児童委員など関係機関と一体となり事業を展開してまいりました。

特に、策定して3年目となった「第1期地域福祉活動計画」については、当初の計画どおり、中間評価及び見直しを行うべく16名の委員からなる「中間評価委員会」を設置し、各委員からは、市内7箇所で実施した住民座談会に参加して頂いた内容及び、それぞれの立場や視点に基づいた意見を頂くとともに評価をして頂き、その結果を中間評価としてまとめた冊子を作成いたしました。

また、昨年度延期とした「第9回西予市社会福祉大会」については、参加人数を縮小するなど、新型コロナウイルス感染対策を徹底した中、盛況に開催することができました。

一方、介護サービス事業においては、感染予防対策を行い安心してサービスが提供できる環境を整備しながら、利用者個々のニーズに応じた質の高いサービスの提供に努めたほか、安定した経営を維持することを目的に、令和5年度からは正職員・継続雇用職員については、現在、一時金として支給している処遇改善加算金を賞与の一部としての財源とすることで経営の改善を図ることといたしました。

また、法人の財政健全化を図るため予定していた「経営改善計画」の見直しについては、急激な収支の悪化及びベテラン職員の退職等に対応するため、新たに策定委員を選任し、継続可能な組織体制、職員の処遇及び、事業の見直し等を改めて検討するため、策定を令和5年度に延期といたしました。

II 基本目標

- i ささえあう意識づくり
- ii つながり・ささえあう地域づくり
- iii 福祉サービスの充実と包括的な相談体制づくり
- iv 安全・安心のまちづくり
- v 信頼される社会福祉協議会づくり
- vi 地域包括的支援事業の強化

Ⅲ 事業の実施状況

【1】 ささえあう意識づくり

1 広報活動の充実強化

(1) 西予市社協広報誌「おあしす」の発行

社協だより「おあしす」を発行し、広く市民に社会福祉協議会活動の周知を図った。(発行回数5回)

(2) ホームページ、フェイスブックを活用した情報の発信

社協のホームページを活用し、現況報告書・計算関係書類等の公表及び、社協・地域包括支援センターの活動、共同募金事業等の情報について常に情報を発信した。

また、「フェイスブック」を活用し、リアルタイムでの情報発信に努めた。

(3) 地域における広報・啓発活動

ふれあい・いきいきサロン、地域づくり組織の会、民協定例会等、職員が地域に出向いた際、地域福祉の情報発信や社協事業のPRに取り組んだ。

(4) 支所だより及び本所だよりの発行

本所(野村だより)及び支所だよりを発行し、地域に根付いた広報活動をおこなった。

(5) 西予市社会福祉大会の開催

これまで多年にわたり社会福祉の発展に功労のあった方々を顕彰し、感謝と敬意を表するとともに、西予市内の福祉関係者が一堂に会し、地域を取り巻く課題に関心を深め、身近な福祉活動の活性化へとつなげることであり、誰もが安心して暮らせるまちづくりへの取り組みを推進することを目的として、第9回西予市社会福祉大会を開催した。

◇ 開催期日	令和4年11月12日(土)
◇ 会場	西予市宇和文化会館
◇ 参加者数	約400名
◇ 記念講演	講演内容「ダウン症の娘と共に生きて」
	講師 金澤 泰子氏(書家)
	金澤 翔子氏()
◇ 市長表彰	社会福祉功労者 3名
◇ 市社協会長表彰	地域福祉功労者 9名
	優良ボランティア 2グループ
◇ 市社協会長感謝状	大口寄附者 4名

(6) 「地域福祉フォーラム」の開催

新型コロナウイルスの感染拡大等により開催を見送った。

2 福祉教育の推進

(1) 福祉協力校の指定

- ① 福祉協力校を指定し、市内の小学校、中学校、高等学校へ助成金を交付した。
- ② 市内の小中学校で高齢者疑似体験教室・車椅子教室・点字教室などの福祉教育に関するプログラムを実施し、次世代を担う子どもたちに「他者への思いやりの心」の養成に努めた。

(2) 高齢者に関する介護知識・技術等普及・出前講座の実施

- ① 福祉関係備品貸出 14件
- ② 介護予防サポーターなどへ認知症や介護予防に関するステップアップ研修会を実施し、地域の支え合い活動の担い手として普及啓発を図った。

3 寄付文化の醸成

(1) 西予市まごころ銀行の運営と寄付金活用事業の促進

① 預託者の意思に基づく有効活用事業の実施

ふれあい・いきいきサロン事業、給食サービス事業等の事業費として有効活用に努めた。

② まごころ銀行運営委員会の開催

行政、議会、地域福祉、自治会、地区選出等関係者 9人の委員による「まごころ銀行運営委員会」を開催し、まごころ銀行を活用した事業内容及び予算・決算等について意見を求めた。

《第1回》

期 日 令和4年6月1日（水）10時00分～

場 所 西予市社会福祉協議会・宇和支所 2階会議室

出席人数 委員9人中8人出席

審 議

- (1) 令和3年度「まごころ銀行」収支決算について
- (2) 令和4年度「まごころ銀行」活用に係る補正について
- (3) その他

《第2回》

期 日 令和5年3月1日（水）10時00分～

場 所 西予市社会福祉協議会・宇和支所 2階会議室

出席人数 委員9人中9人出席

報 告

- (1) 令和4年4月～令和5年1月「まごころ銀行」預託金の状況について

審 議

- (1) 令和4年度「まごころ銀行」活用に係る補正について

(2) 令和5年度「愛媛県南予地区里親会」に対する活動助成金の審査について

(3) 令和5年度「まごころ銀行」を活用した事業・予算について

【まごころ銀行の預託実績】

社会福祉協議会活動の貴重な財源として、本所及び各支所にまごころ銀行を設置し、市民の皆様からの善意を頂いた。

(単位：円)

地 区	野 村	明 浜	宇 和	城 川	三 瓶	合 計
預 託 額	2,966,087	313,000	1,239,912	2,049,626	613,082	7,181,707

③ 「社会福祉団体等」への助成

1件：「愛媛県南予地区里親会」

(2) 共同募金及び歳末たすけあい運動並びに日本赤十字社活動資金募集への協力

① 共同募金運動

・ 募集期間 令和4年10月～12月

・ 実績（円）前年比：99.2%

地 区	本 所 (野村)	明 浜	宇 和	城 川	三 瓶	小 計	県本会受 付按分額	合 計
金 額	1,954,434	899,687	3,866,315	824,336	1,410,001	8,954,773	463,935	9,418,708

※「県本会受付按分額」は愛媛県共同募金会受付分を人口・世帯の指標を元に20の市町に按分した額

② 歳末たすけあい運動

・ 募集期間 令和4年11月～12月

・ 実績（円）前年比：97.1%

地 区	本所(野村)	明 浜	宇 和	城 川	三 瓶	合 計
金 額	696,000	80,096	1,396,609	300,900	840,691	3,314,296

③ 日本赤十字社会員増強運動に伴う活動資金募集の協力

・ 募集期間 令和4年5月～6月

・ 実績（円）前年比：99.6%

地 区	本所(野村)	明 浜	宇 和	城 川	三 瓶	合 計
金 額	1,160,405	559,280	2,136,810	519,500	1,187,500	5,563,495

【2】つながり・ささえあう地域づくり

1 民生児童委員協議会との連携

(1) 民生児童委員との協働及び活動への支援

① 心配ごと相談事業の実施

本所及び各支所が実施している「心配ごと相談所」において、心配ごと相談員として、市民の相談に対応して頂いた。

② 見守りを兼ねた給食サービス・オムツ配布等の実施

毎月、主に市内の独居世帯を対象に、見守りを兼ねた給食サービス（弁当等の配布）の実施に協力を頂いた。

また、給食サービス実施時に併せ、野村地区では、隔月で紙オムツの配布を、城川地区においては、年2回、紙オムツの配布に協力を頂き、三瓶地区では、誕生日プレゼントとして独居世帯へお菓子を配布するなど、各地域特有の取組みにも協力を頂いた。

(2) 安心キットの普及・啓発

民生児童委員協議会の協力のもと、各地区において安心キットについての周知及び利用を推進した。

【対象者等】

- ・ 75歳以上の一人暮らし世帯
- ・ 75歳以上の世帯
- ・ 身体障害者等の手帳所持者
- ・ その他、地区民生児童委員協議会会長が適当と認める者

【利用実績】（令和5年3月末現在）

		本所	明浜支所	宇和支所	城川支所	三瓶支所	合計
独居世帯	利用世帯数	263世帯	76世帯	342世帯	122世帯	201世帯	1,004世帯
	利用者数	263人	76人	342人	122人	201人	1,004人
高齢者世帯	利用世帯数	95世帯	22世帯	106世帯	38世帯	47世帯	308世帯
	利用者数	190人	44人	213人	75人	94人	616人
障害者手帳所持者	利用世帯数	19世帯	4世帯	18世帯	9世帯	6世帯	56世帯
	利用者数	20人	4人	18人	9人	6人	57人
その他	利用世帯数	38世帯	2世帯	27世帯	7世帯	18世帯	92世帯
	利用者数	47人	2人	27人	7人	25人	108人
合計	利用世帯数	415世帯	104世帯	493世帯	176世帯	272世帯	1,460世帯
	利用者数	520人	126人	600人	213人	326人	1,785人

2 生活支援体制整備事業の推進（市：受託事業）

(1) 生活支援コーディネーターの配置

第1層コーディネーターの配置 1人（市全域）

第2層コーディネーターの配置 5人（旧町域）

(2) 「支え合い推進会議」（第1層・第2層協議体）の設置・運営

○ 第1層協議体（支え合い推進会議）の設置（市全域）

○ 第1層協議体（支え合い推進会議）開催：3回

○ 第2層協議体（支え合い推進会議）の設置（旧町単位）

- ・ 地域づくり活動センターの動向に合わせ委員の選任案を作成
- ・ 令和4年度は未設置

(3) 地域支援の担い手の養成及び住民主体による活動の支援

- ポイント制ボランティア 登録者 50人
- プレミアムポイントボランティア 登録者 13人
- サポーター・ステップアップ研修会 6回（延べ65人参加）
- 介護予防サポーター連絡会の協働：2回

(4) 地域の集いの場づくりの推進

- サロン研修会 市内 2回開催
- 集いの場への訪問 市内 105回

(5) 地域資源の把握と地域課題の抽出

「地域のお宝ガイドブック」を作成し、地域の支え合い活動の見える化に取り組んだ。また、住民座談会を通じ改めて地域の課題やその解決に向けた取り組みの状況などについて話し合う機会を設けた。

(6) 関係機関・団体等の連携

- 地域の会議等への参加や各公民館等への訪問 113回

(7) 新しい生活様式での地域の支え合い活動の推進

10 ページ7 新型コロナウイルスに対応した新たな地域福祉の推進に含まれる。

3 小地域活動の活性化に関する地域福祉事業及び活動の推進

(1) ふれあい・いきいきサロンの推進・充実

ひとり暮らしの高齢者等と地域住民（ボランティア等）が、自宅から歩いていける場所（集会所等）に気軽に集ったり、ふれあいを通して生きがいづくり・仲間づくりの輪を広げたり、地域の健康づくり（介護予防）の拠点として機能する活動を推進した。

① サロン研修交流会の開催	野村地区：参加者	32人	
	明浜地区：参加者	17人	
② 各サロンへの助成 (助成金額)	野村：48サロン	960,000円	
	明浜：8サロン	160,000円	
	新規：30,000円	宇和：36サロン	720,000円
	継続：20,000円	城川：9サロン	180,000円
		三瓶：10サロン	210,000円

(2) 西予市生き生きシニアポイント事業の実施

- ポイント制ボランティア登録者 50人
- プレミアムポイントボランティア登録者 13人

※ 2生活支援体制整備事業の推進（市：受託事業）

- (3) 地域支援の担い手の養成及び住民主体による活動の支援
一部再掲

(3) 地区社会福祉協議会の活動推進
宇和地区7地区社協へ活動助成金

(4) 地域食堂の研究・推進

・ 研修会の開催

「みんなで作る地域の居場所・地域食堂について知ろう」

参加者：27名

・ 先進地への視察：コロナ禍のため中止（2件）

(5) 地域づくり組織及び公民館との連携・情報共有

令和5年度から設置される「地域づくり活動センター」との関係構築のため、積極的に公民館等に訪問し情報収集に努めた。

4 ボランティア活動への支援

(1) ボランティア活動に対する情報の収集・提供及び啓発

・ 広報誌「おあしす」及びフェイスブックにて情報発信を行った

・ 県社協等が実施する研修会等に参加し情報収集に努めた

(2) 各種ボランティア講座・研修会の開催

① ボランティア養成講座の開催

4講座開催 参加人数：計42人 修了者：計28人

② ボランティア研修会

野村地区：地域食堂の推進と合わせての実施 27人参加

城川地区：介護予防ステップアップ研修会同時開催 11人参加

③ 夏休みチャレンジ☆ボランティアの実施（野村・城川地区）

福祉施設等でのボランティア体験を通して、障がいのある方や高齢者等への理解や小さい子どもへの思いやりの心を育てることを目的に実施した。

参加者：小・中・高生 44人参加

協力：野村保育所、しろかわ保育所、西予市野城総合福祉協会

(3) ボランティア活動保険の加入促進

本所・各支所において加入促進：831人加入

(4) ボランティア連絡協議会研修会等の開催

・ 無観客で実施（後日CATVで放映）

5 地域みんなで支える子育て支援の推進

(1) 子育てサロンの推進

子育てサロン2件助成

(2) 子育て支援講座の開催

- わたしへのごほうび講座：宇和（5回開催 参加者延べ 30人）
- わたしへのごほうび講座：野村（1回開催 参加者 15人）
- 子どもと一緒に♪ヨガ教室：宇和（4回開催 参加者延べ 37人）

(3) 「地域食堂」等の研究・推進

7ページ 3小地域活動の活性化に関する地域福祉事業及び活動の推進

(4) 地域食堂の研究・推進と同じ

(4) ヤングケアラー支援に向けた関係機関研修会（地域別研修会）への参加

日 時：令和4年11月28日（月）

会 場：大洲市総合福祉センター

内 容：「ヤングケアラーの基礎理解と支援の考え方（講義）」

「ヤングケアラーの発信にきづく・つなげる・ささえる」

6 災害ボランティア活動に関する研究及び啓発

(1) 災害ボランティアセンター中核スタッフ養成プログラムへの参加

- 第4期 養成プログラムへ1名参加
- 災害ボランティアセンター中核スタッフ養成研修参加（2日間）

(2) 災害時対応マニュアルの見直しに伴う研究

- 「愛媛県版市町地域支え合いセンター運営ガイドライン」策定委員として参加

【第1回打合せ会】1名参加

日 時：令和4年10月5日（水）

場 所：大洲市総合福祉センター

【第2回打合せ会】1名参加

日 時：令和4年11月17日（木）

場 所：宇和島市社会福祉協議会 吉田支所

- 災害ケースマネジメント研修会（基礎編）への参加

日 時：令和4年10月28日（金）

場 所：卯之町「ゆるりあん」

内 容：「災害ケースマネジメント～」「地域支え合いセンターと情報共有会議の果たす役割」

- 災害ボランティアセンターマネジメント研修会（モデル研修会）への参加

日 時：令和5年2月9日・10日

場 所：かがわ国際会議場（9日）

香川県社会福祉総合センター（10日）

目 的：社会福祉協議会の活動全般を視野に入れ、災害ボランティアセンター運営や支援の見通しを付け、行政やNPOとの連携・調整などのマネジメントを担う人材育成

- 災害ケースマネジメント研修（実践編）への参加
 - 日 時：令和5年2月15日（水）
 - 場 所：西予市教育保健センター
 - 内 容：「鳥取県における災害ケースマネジメントの実践」「災害ケースマネジメントと重層的支援及び災害時の3つのディフェンス」

- (3) 災害ボランティアに対する意識の啓発
災害ボランティア養成講座実施と兼ねる

- (4) 災害ボランティア養成講座の開催
令和4年度災害ボランティア養成講座（中級編）の開催
（12月3日 社協本所 受講生13人）

- (5) 災害時連携を念頭に置いたネットワークの推進・構築
 - 地域支え合い・災害支援ネットワーク第1回南予会議への参加
 - 日 時：令和4年6月15日（水）
 - 会 場：大洲市総合福祉センター
 - 内 容：「愛媛県における地域支え合い・災害支援ネットワーク構築について」「各市からの報告（平成30年7月豪雨災害被災者支援の継続状況等）」「令和4年度愛媛県総合防災訓練について」

 - 地域支え合い・災害支援ネットワーク第1回全県会議への参加
 - 日 時：令和4年8月30日（火） ※WEB会議
 - 内 容：「令和4年度地域支え合い・包括的地域福祉推進事業について」「地域支え合い・災害支援ネットワークについて」「産官学民の多様な被災者支援主体間の連携について」「被災者支援の経験から見えてきたこと」

 - 地域協働ネットワーク構築推進事業に係るオンラインセミナー
 - 日 時：令和4年10月7日（金） ※WEB
 - 内 容：「24時間対応のチャット相談窓口の現場から～信頼できる人に確実にアクセスできる社会の実現のために～」 「地域の支援・受援をつなぎ“市民力”を向上させる～ちょうどいい距離間をつくる、これからの中間支援のカタチ～」

 - 地域支え合い・災害支援ネットワーク第2回南予会議への参加
 - 日 時：令和4年10月28日（金）
 - 会 場：卯之町「ゆるりあん」
 - 内 容：「愛媛県内の地域支え合い・災害支援ネットワーク構築状況について」「各市からの報告（平成30年7月豪雨災害被災者支援の継続状況等）」「（実践報告）日本青年会議所愛媛ブロック協議会の取り組み」「参加機関及び団体からの報告」

○ 4者連携構築推進研修への参加

日 時：令和5年1月26日（木）13:00～15:15

会 場：東温市中央公民館

内 容：「官民による被災者支援主体間の連携・協働」「市町における社会資源の洗い出し」

○ 地域支え合い・災害支援ネットワーク第2回全県会議への参加

日 時：令和5年1月26日（木）15:30～16:30

会 場：東温市中央公民館

内 容：「地域支え合い・災害支援ネットワーク（4者連携）構築状況について」「4者（NPO・士業・教育機関・諸団体等、企業・組合、市町行政、市町社会福祉協議会）の代表団体より、災害時支援内容及び平時の取り組み内容について」「参加機関及び団体からの報告」

○ 地域支え合い・災害支援ネットワーク第3回南予会議

日 時：令和5年2月15日（水）

会 場：西予市教育保健センター

内 容：「愛媛県内の地域支え合い・災害支援ネットワーク構築状況について」「各市からの報告（平成30年7月豪雨災害被災者支援の継続状況等）」「（実践報告）四国地区曹洞宗青年会の取り組み」「参加機関及び団体からの報告」

7 新型コロナウイルスに対応した新たな地域福祉の推進

(1) 新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した「ふれあい・いきいきサロン」等の地域の「集いの場」の推進

・ コロナ禍のなか、自主的に活動を中止するサロンもあったが、感染に十分配慮して活動するよう推進に努めた。

(2) コロナ禍での新しいボランティア活動の推進

感染に十分配慮して通常通りのボランティア活動が行われるよう推進した。

(3) オンラインによる研修会や講座の開催

住民座談会（7回）や中間評価委員会でZOOMを活用し、アドバイザーの講演やアドバイスを頂いた。

8 小規模多機能自治との連携

(1) 地域づくり組織及び公民館との連携・情報共有

5 ページ、2 生活支援体制整備事業の推進 (6) 関係機関・団体等の連携と同じ

◇ 宇和地区：地区社会福祉協議会（地区社協）組織体制の意見交換会

日 時：令和4年7月6日（水）

会 場：西予市教育保健センター

内 容：「地区社会福祉協議会組織・育成費助成金について」「地域づくり活動センター移行に伴う地区社会福祉協議会について」

- (2) 小規模多機能自治の取り組みへの参加
心のバリアフリー推進の協働

【3】福祉サービスの充実と包括的な相談体制づくり

1 相談体制の充実

- (1) 総合的な相談体制の整備

地区担当を明確にし、生活福祉資金貸付事業、福祉サービス利用援助事業、法人後見事業の研修会に参加した。

- (2) 法律相談等の専門相談の実施

各支所にて実施（実施項目を参照）

- (3) 地域包括支援センターとの協働による介護・福祉・認知症相談の実施

○ 各支所にて実施

明浜 8 回、宇和 12 回、野村 12 回、城川 6 回、三瓶 6 回

- (4) 民生児童委員定例会及び地域ケア会議等での情報共有

○ 民生児童委員定例会への参加

明浜 6 回、宇和 9 回、野村 18 回、城川 8 回、三瓶 9 回

○ 地域ケア会議への参加

明浜 1 回、宇和 3 回、野村 3 回、城川 2 回、三瓶 1 回

2 福祉サービスの充実

- (1) 介護及び介護予防サービス部門等の適切な運営

- ・ 居宅介護支援事業 本所、宇和支所
- ・ 訪問介護事業 本所、宇和支所、城川支所
- ・ 訪問入浴介護事業 宇和支所（西予市を全域カバー）
- ・ 障がい福祉サービス事業 本所、宇和支所、城川支所
- ・ 第1号訪問事業 本所、宇和支所、城川支所
- ・ 第1号通所事業 本所、城川支所
- ・ 地域生活支援事業 宇和支所

上記の事業所体制により介護サービス事業及び障がい福祉サービス事業を推進し、適切な運営に努めた。

- (2) 福祉人材養成・確保に関する事業の実施

- ・ ケアマネ更新研修費助成を行い、職員の負担軽減を図り雇用の確保に努めた。（5人に助成）
- ・ ベースアップ等支援加算金を活用した臨時職員（ヘルパー）及び非常勤ヘルパーの賃金の増額を行った。

(3) 訪問介護員の資質向上の推進

- ・ 各事業所において月 1 回勉強会を実施
- ・ サービス提供責任者会の実施（1 回実施）
- ・ 管理者会（介護事故予防・防止委員会等）への参加 3 回
- ・ 介護知識・技術向上のため積極的に各種研修会に参加した

(4) 介護支援専門員の資質向上の推進

- ・ 各事業所において毎週 1 回の連絡会を実施
- ・ 管理者会（介護事故予防・防止委員会等）への参加 3 回
- ・ 介護知識向上のため積極的に各種研修会に参加した

(5) 介護用品販売事業の推進

明浜支所において介護用品（紙オムツ）の販売を行った。

年間利用者数：16 人 販売回数：63 回

販売額：139,090 円

(6) 新型コロナウイルス感染症への対応

- ・ 感染症対策を徹底し、また、有事の際の対応等を協議し整備を図った。
- ・ PCR 及び抗原検査を実施することで、利用者及び職員の不安解消に努めた。

【4】安全・安心のまちづくり

1 福祉サービス利用援助事業の推進（日常生活自立支援事業）

(1) 福祉サービス利用援助事業の推進（愛媛県社協：受託事業）

判断能力に不安のある方に対し、福祉サービスの適切な利用のため一連の援助を行った。

令和 5 年 3 月末日現在	利用者数	7 人
	生活支援員（含む登録）	5 人
令和 4 年度における相談件数	問い合わせ	8 件
	初回相談	4 件
	利用者への相談援助	190 件

(2) 生活支援員の活動支援

- ・ 来所時の声掛けや報告書等で活動内容の確認を行った。
- ・ 状況に応じて本所、県社協と連携して対応にあたった。

○ 第 1 回専門員連絡会への参加

日 時：令和 4 年 7 月 14 日（木）

参加者：専門員 4 人

内 容：「福祉サービス利用援助事業専門員として知っておきたい死後事務について」 意見交換、事業説明

- 「専門員実践力強化研修会Ⅱ」への参加（WEB）
 - 日 時：令和5年2月9日、10日
 - 参加者：専門員1人
 - 内 容：「個別支援における多機関・多職種連携」「日常生活自立支援事業と成年後見制度の連携」「事例検討」等

- 第2回専門員連絡会及び専門員・生活支援員研修会参加（WEB）
 - 日 時：令和5年3月3日（金）
 - 参加者：専門員4人、生活支援員4人
 - 内 容：「福祉サービス利用援助事業における権利擁護の理解と判断能力の低下した対象者への支援における留意点について」
分科会①「生活支援員情報交換会」
分科会②「第2回専門員連絡会」

- 愛媛県運営適正化委員会による実施状況調査（WEB）
 - 日 時：令和5年1月31日（火）
 - 参加者：6人（地域福祉課長、専門員5人）
 - 内 容：調査票に基づく実施状況の聞き取り、預かり物等の保管状況の確認、不祥事防止のための注意喚起

2 成年後見制度の推進

(1) 成年後見人後見業務の実施

判断能力が十分でない方の権利を守り財産を管理して支援を行った。

- ・ 法人後見受任者：1件（令和5年3月末現在）
- ・ 訪問支援回数：11回（面会中止1回：コロナ感染防止対策のため）
- ・ 後見事務報告：松山家庭裁判所宇和島支部へ提出（年1回）

○ 権利擁護推進のための担い手養成学習会への参加

日 時：令和4年9月1日（木）

会 場：にぎたつ会館

参加者：2人

内 容：「愛媛県における成年後見制度の動向と家庭裁判所の取り組み」「社会福祉法人における法人後見受任体制の整備と後見業務について」「社会福祉法人等の法人後見の取り組みと地域における成年後見制度の推進」

○ 成年後見制度利用促進セミナーへの参加（WEB）

日 時：令和4年11月16日（木）

参加者：1人

内 容：「第2期成年後見制度利用促進基本計画の概要について」「市民後見の役割と現状について」「成年後見制度利用促進に係る各市町の取り組みについて」

- 愛媛県成年後見制度利用促進協議会への参加
日 時：令和4年12月14日（水）
参加者：1人
内 容：「第2期成年後見制度利用促進基本計画における県の取組み予定」「協議会の運営等について」「成年後見利用促進体制整備（協議会）に関する協議」

- 成年後見制度利用促進検討会（南予会場）の参加（WEB）
日 時：令和5年3月9日（木）
参加者：3人
内 容：「体制整備における関係機関との連携～裁判所の視点から～
～専門職の視点から～」 「グループ討議」

(2) 運営委員会の開催：1回

- 法律関係者2人、医療・福祉関係者1人、学識経験者1人、行政関係者1人からなる「法人後見運営委員会（5人）」を設置
日 時：令和4年5月12日（木）
会 場：本会「宇和支所」
参加者：8人（運営委員5人、職員3人）

(3) 法テラス、関係機関との連携

新規受任依頼なし、受任中被後見人の相続手続きを司法書士へ依頼中

○ 「日本司法センター愛媛地方協議会」への参加

日 時：令和5年3月16日（木）

参加者：2人

内 容：「法テラス愛媛の業務概況について」「事例報告～司法と福祉の連携について」「意見交換」

(4) 任意後見及び民事信託の研究

任意後見及び民事信託に関する研修会等に参加できなかった。

(5) 法人後見制度の啓発

中核機関にて啓発を検討中

(6) 西予市成年後見制度利用促進基本計画に基づく中核機関検討委員会への参加

○ 第2回西予市中核機関検討委員会：令和4年6月1日（水）

○ 第3回西予市中核機関検討委員会：令和4年7月21日（水）

○ 第4回西予市中核機関検討委員会：令和4年9月2日（金）

4 援助及び生活支援

(1) 生活福祉資金貸付事業の推進（愛媛県社協からの受託事業）

本所・各支所にて貸付を推進した

年間相談件数：70件（内、貸付件数：2件）

(2) 小口資金貸付事業の推進

宇和支所にて生活困窮者に対し一時的な貸付を行った。

相談件数：5件 貸付件数：4件

(3) 緊急食糧支援ネットワーク事業の実施（愛媛県社協からの受託事業）

生活困窮等により、食糧の確保が困難な者（世帯）に対して、緊急的に食糧の支給を実施

- ・ 支援世帯数 11件（宇和支所7件、三瓶支所4件）
- ・ 支援食数 321食

(4) 生活困窮者自立支援制度における福祉総合相談センター（市）との連携必要に応じて随時相談・情報共有を行った。

特例貸付の総合貸付6件（新規）については、申請時に連携を取りながら貸付を実施した。

(5) フード・ドライブの研究

量販店のフードパントリーを野村地区の地域食堂で活用されている状況を確認 フードパントリー ⇒ 子ども食堂・地域食堂があり、地域食堂と併せて推進していきたい。

(6) 緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付の実施（国が定める期間）

○ 特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金初回・延長・再貸付）

新型コロナウイルスの影響で収入の減少や失業等により、緊急かつ一時的な生計維持のため、貸付を必要とする世帯へ貸付（緊急小口資金特例貸付）を行う。なお、その後においても収入の減少や失業等により日常生活の維持が困難となっている世帯へは総合支援資金特例貸付・延長・再貸付を行った。

◇ 相談件数 751件（令和2年4月～令和4年9月）

明浜支所	63件	宇和支所	243件	野村本所	298件
城川支所	65件	三瓶支所	82件		

※相談先と借入者地区は異なります。

◇ 貸付件数 280件（令和2年4月～令和4年9月）

緊急小口資金貸付	127件	（令和4年9月末受付終了）
総合支援資金初回貸付	81件	（令和4年9月末受付終了）
" 延長貸付	35件	（令和3年6月末受付終了）
" 再貸付	37件	（令和3年12月末受付終了）

【5】信頼される社会福祉協議会づくり

1 社会福祉協議会の基盤強化

(1) 市社協の運営体制の整備と基盤強化

① 理事会、評議員会、監査会の開催

【理事会】

《第1回》

期 日 令和4年4月1日（金）10時00分～
 場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室
 出席人数 理事10人中8人出席 監事2人中2人出席
 案 件

○ 報告

報告番号	件 名
報告第1号	理事の交代について

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第1号	会長の選定について
議案第2号	理事候補者の選定について
議案第3号	職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案第4号	非常勤職員就業規則の一部を改正する規則制定について
議案第5号	介護職員等特定処遇改善加算金の支給に関する規程の一部を改正する規程制定について
議案第6号	介護職員等の処遇改善加算に関する規程の一部を改正する規程制定について
議案第7号	第1回評議員会の決議の省略について

《第2回》

□ 理事会の決議の省略

理事会の決議があったものとみなされた日

令和4年4月25日（月）

決議事項を提案した者の氏名

会 長 宗 正 弘

理事からの同意 11人

監事からの確認 2人

案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第8号	宇和支所指定居宅介護支援事業所運営規程の一部を改正する規程制定について

《第3回》

期 日 令和4年6月13日（月）9時25分～
 場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室

出席人数 理事 11 人中 9 人出席 監事 2 人中 2 人出席
案 件

○ 報告

報告番号	件 名
報告第 2 号	専決処分第 1 号について（令和 3 年度）
報告第 3 号	理事の交代について

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 9 号	令和 3 年度事業報告について
議案第 10 号	令和 3 年度収支決算について
議案第 11 号	社会福祉充実計画について
議案第 12 号	令和 4 年度第 1 次資金収支補正予算について
議案第 13 号	介護職員等の処遇改善加算に関する規程の一部を改正する規程制定について
議案第 14 号	育児・介護休業等に関する規則の一部を改正する規則制定について
議案第 15 号	評議員候補者の推薦について
議案第 16 号	評議員選任・解任委員会の開催について
議案第 17 号	定時評議員会の開催について

《第 4 回》

□ 理事会の決議の省略

理事会の決議があったものとみなされた日

令和 4 年 7 月 29 日（金）

決議事項を提案した者の氏名

会 長 宗 正 弘

理事からの同意 11 人

監事からの確認 2 人

案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 18 号	理事候補者の選定について
議案第 19 号	第 3 回評議員会の決議の省略について

《第 5 回》

□ 理事会の決議の省略

理事会の決議があったものとみなされた日

令和 4 年 9 月 22 日（木）

決議事項を提案した者の氏名

会 長 宗 正 弘

理事からの同意 11 人

監事からの確認 2人

案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 20 号	臨時職員就業規則の一部改正について
議案第 21 号	非常勤職員就業規則の一部改正について
議案第 22 号	障がい者総合支援法に基づく運営規程の一部改正について

《第 6 回》

□ 理事会の決議の省略

理事会の決議があったものとみなされた日

令和 4 年 10 月 12 日（水）

決議事項を提案した者の氏名

会 長 宗 正 弘

理事からの同意 11 人

監事からの確認 2 人

案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 23 号	西予市社会福祉協議会本所 西予市介護予防・日常生活支援総合事業における第 1 号通所事業（通所型サービス A）運営規程の一部改正について

《第 7 回》

期 日 令和 4 年 12 月 22 日（木）10 時 00 分～

場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室

出席人数 理事 11 人中 9 人出席 監事 2 人中 2 人出席

案 件

○ 報告

報告番号	件 名
報告第 4 号	理事の交代について

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 24 号	理事候補者の選定について
議案第 25 号	評議員候補者の推薦について
議案第 26 号	第 4 回評議員会の決議の省略について
議案第 27 号	第 2 回評議員選任・解任委員会の開催について

《第 8 回》

期 日 令和 5 年 1 月 24 日（火）10 時 00 分～

場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室

出席人数 理事 11 人中 10 人出席 監事 2 人中 2 人出席
 案 件

○ 報告

報告番号	件 名
報告第 5 号	理事の交代について

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 28 号	副会長の選定について
議案第 29 号	職員給与規則の一部を改正する規則制定について

《第 9 回》

期 日 令和 5 年 3 月 20 日 (月) 9 時 30 分～
 場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室
 出席人数 理事 11 人中 11 人出席 監事 2 人中 2 人出席
 案 件

○ 報告

報告番号	件 名
報告第 6 号	西予市地域福祉活動計画中間評価について

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 30 号	職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案第 31 号	嘱託職員就業規則の一部を改正する規則制定について
議案第 32 号	介護職員等の処遇改善加算に関する規程の一部を改正する規程制定について
議案第 33 号	育児・介護休業等に関する規則の一部を改正する規則制定について
議案第 34 号	評議員の選任に関する規程の一部を改正する規程制定について
議案第 35 号	指定訪問介護事業所運営規程の一部を改正する規程制定について
議案第 36 号	西予市介護予防・日常生活支援総合事業における第 1 号訪問事業所運営規程の一部を改正する規程制定について
議案第 37 号	障がい者総合支援法に基づく運営規程の一部を改正する規程制定について
議案第 38 号	令和 4 年度第 2 次資金収支補正予算について
議案第 39 号	令和 5 年度事業計画について
議案第 40 号	令和 5 年度資金収支予算について
議案第 41 号	役員等賠償責任保険契約について
議案第 42 号	第 5 回評議員会の開催について

【評議員会】

《第1回》

評議員会の決議の省略

評議員会の決議があったものとみなされた日

令和4年4月13日（水）

決議事項を提案した者の氏名

会長 宗 正 弘

評議員からの同意 21人

案 件

議案審議

議案番号	件 名
議案第1号	理事の補欠選任について

《第2回：定時評議員会》

期 日 令和4年6月28日（火）9時55分～

場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室

出席人数 評議員21人中21人出席 監事2人中2人出席

出席理事 会長、副会長、常務理事

案 件

報告

報告番号	件 名
報告第1号	専決処分第1号について（令和3年度）
報告第2号	評議員の交代について

議案審議

議案番号	件 名
議案第2号	令和3年度事業報告について
議案第3号	令和3年度収支決算について
議案第4号	社会福祉充実計画について
議案第5号	令和4年度第1次資金収支補正予算について

《第3回》

評議員会の決議の省略

評議員会の決議があったものとみなされた日

令和4年8月12日（金）

決議事項を提案した者の氏名

会長 宗 正 弘

評議員からの同意 21人

案 件

議案審議

議案番号	件 名
議案第6号	理事の補欠選任について

《第4回》

□ 評議員会の決議の省略

評議員会の決議があったものとみなされた日

令和5年1月10日(火)

決議事項を提案した者の氏名

会長 宗 正 弘

評議員からの同意 21人

案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第7号	理事の補欠選任について

《第5回》

期 日 令和5年3月28日(火) 9時56分～

場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室

出席人数 評議員21人中17人出席

出席理事 会長、副会長、常務理事

案 件

○ 報告

報告番号	件 名
報告第3号	評議員の交代について
報告第4号	西予市地域福祉活動計画中間評価について

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第8号	令和4年度第2次資金収支補正予算について
議案第9号	令和5年度事業計画について
議案第10号	令和5年度資金収支予算について

【監査会】

期 日 令和4年5月24日(火) 9時00分～

場 所 西予市社会福祉協議会・本所

出席監事 上甲雅文、井上尚喜

出席理事 常務理事

監査事項 会計監査

① 会計処理・契約状況

② 予算の編成状況

③ 寄付金の取扱い

④ 決算関係

⑤ 会計帳簿の保存状況

業務監査

① 定款

② 評議員及び評議員会の開催状況

- ③ 理事・監事及び理事会の開催状況
- ④ 規則・規程の整備状況
- ⑤ 人事・労務管理
- ⑥ 事業報告・評価

【監事による現地監査】

ア 明浜・三瓶支所

期 日 令和4年12月12日（月）
 実施場所 西予市社会福祉協議会 明浜・三瓶支所
 出席監事 上甲雅文、井上尚喜
 調査事項 明浜・三瓶支所の体制及び事業の進捗状況等

イ 宇和支所

期 日 令和4年12月15日（木）
 実施場所 西予市社会福祉協議会 宇和支所
 出席監事 上甲雅文、井上尚喜
 調査事項 宇和支所の体制及び事業の進捗状況等
 包括支所の体制及び事業の進捗状況等

② 評議員選任・解任委員会の開催

《第1回》

期 日 令和4年6月23日（木）9時52分～
 実施場所 西予市社会福祉協議会・本所
 出席人数 評議員選任・解任委員5人中5人出席
 出席理事 会長、常務理事
 案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第1号	評議員の補欠選任について

《第2回》

期 日 令和5年1月11日（水）10時00分～
 実施場所 西予市社会福祉協議会・本所
 出席人数 評議員選任・解任委員5人中5人出席
 出席理事 会長、常務理事
 案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第2号	評議員の補欠選任について

③ 役職員研修等の実施

コロナ感染防止のため「役職員研修」の開催を見送った。

④ 円滑な事業実施体制の構築

会長への自己申告書の提出及び個人面談（常勤職員）を行うことで、個人の抱える悩み等への解決を推進し、働きやすい環境づくりに努めた。

⑤ 経営会議、業務執行会議の開催

ア 経営会議

法人の経営状況の把握及び経営方針等を協議するため、年間 6 回幹部職員による経営会議を開催した。

【構成（10 人）】

会長、常務理事、事務局長、地域福祉課長、センター長、支所長、センター次長（2 人）、宇和支所長補佐、総務係長

イ 業務執行会議

法人運営と事業推進を効果的に進めるため、年間 11 回管理職等による業務執行会議を開催し協議を行った。

【構成（15 人）】

常務理事、事務局長、地域福祉課長、センター長、支所長、総務係長、センター次長（2 人）、支所長補佐、地域福祉係長、居宅管理者（2 人）訪問介護管理者（3 人）

⑥ 関係機関・団体との連携強化

○ 民生児童委員協議会及び関係機関・団体等との連携強化

民生児童委員協議会の定例会等に参加するとともに、老人クラブをはじめ、各福祉団体等の事業に協力して連携を強化した。

特に、地域福祉推進の担い手としての役割を持つ民生児童委員協議会には、給食サービス、ふれあい・いきいきサロン、安心カード見守り支援事業等の地域福祉事業についての協力を受け協働で推進を行った。

⑦ 事務処理の効率化とコストの削減

各会議等において収支状況を報告しコスト削減に努めるよう促した。

⑧ 会員制会費の推進

社会福祉協議会の経営基盤となる会員制会費を推進し、広く市民のご協力をいただいた。

ア 募集期間 令和 4 年 6 月～8 月

イ 会員 一般会員： 500 円以上

特別会員：2,000 円以上

ウ 実績

地 区	一般会員	特別会員	金 額（円）
本所（野村）	2,327	0	1,163,500
明 浜	1,097	0	551,000
宇 和	4,572	52	2,374,550
城 川	1,017	0	508,500
三 瓶	2,579	9	1,312,500
合 計	11,592	61	5,910,050

⑨ 情報公開への適切な対応

ホームページ等を活用し、社会福祉法で定められた定款、計算書類、役員等名簿、現況報告書等を遅滞なく掲載し情報開示に努めた。

⑩ 規則及び諸規程の整備

主には、人事院勧告等に基づく職員給与規則の給料、勤勉手当の改正及び、最低賃金が引き上げられたことに伴う臨時職員就業規則の改正、また、育児・介護休業法の改正に伴う見直し等を行った。

⑪ 経営改善計画の見直し

急激な収支悪化に伴い、令和 5 年度において策定委員を選任し新たな経営改善計画を策定することとした。

⑫ 事業継続計画（BCP）の見直し

主には、新型コロナウイルス対応として各部署において、そのケースにあった見直しを行った。

(2) 地域福祉推進力の強化

① 地域福祉の企画・立案機能（新規事業）の体制整備

- ・地区担当者を明確にし、職員の意識改革に努めた。
- ・座談会等を通じ、住民・地域の取組み内容を確認しながら、可能な限り実施・継続できるよう、住民・地域と協働で取組んだ。

② 職員に対する研修事業の実施

職員研修委員会の開催（委員：6人）

◇ 研修委員会の開催

《第1回》 日 時：令和4年6月23日（木）

場 所：宇和支所「小会議室」

内 容：R4年度職員研修会計画

職員アンケートの実施について

《第2回》 日 時：令和4年7月14日（木）

場 所：宇和支所「小会議室」

内 容：職員アンケートの集計結果をもとに研修内容及び開催時期の検討

《第3回》 日 時：令和4年8月17日（水）

場 所：宇和支所「小会議室」

内 容：研修内容「メンタルヘルス」
講師等の検討

《第4回》 日 時：令和4年9月16日（金）
場 所：宇和支所「小会議室」
内 容：研修の具体的な開催方法等について

【研修内容】

演 題 「メンタルヘルス研修」
～マインドフルネスの理論と体験～
講 師 ころろ学 Labo 代表 中田めぐむ 氏
ア 宇和支所
日 時：令和4年11月17日（木）18:00～
場 所：教育保健センター
イ 本所
日 時：令和4年11月24日（木）18:00～
場 所：野村公民館

③ 総合事業に対応する生活支援サービスの研究・整備
生活支援体制整備事業において実施

④ 職員の資格等取得の促進
個人面談等において、介護支援専門員・社会福祉士等の資格取得の促進を図った。

(3) 地域福祉活動の推進

時期によっては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、座談会・研修会等参集することにより推進していく事業については、思うように活動が出来なかった。

(4) 地域福祉活動計画の中間報告・評価の実施

○ 7箇所（旧5町ごとの1回と山間部2地区）で座談会を実施し、参加者に取組み内容の進捗を確認して評価を行ってもらった。

○ 西予市地域福祉活動計画中間評価委員会を設置し、審議・検討を行った。
・ 第1回中間評価委員会：令和5年1月27日（金）
・ 第2回中間評価委員会：令和5年2月24日（金）

○ 座談会、中間評価委員会の意見を取りまとめ、第1期西予市地域福祉活動計画中間評価を作成した。

2 関係機関との連携強化

(1) 社会福祉法人連絡協議会の開催

コロナ感染防止のため令和4年度は開催を見送った。

(2) 法人間のネットワークの構築

理事会、評議員会等の諸会議及び各研修会参加時に情報交換を行い関係構築に努めた。

(3) 法人の連携による福祉教育に関する事業の推進

コロナ禍により未実施

(4) 法人の連携による成年後見制度の受任体制の整備に関する研究

13 ページ「社会福祉法人における法人後見受任体制の整備と後見業務について」をテーマにした権利擁護推進のための担い手養成学習会への参加

【6】地域包括的支援事業の強化（地域包括支援センター事業報告参照）

- 1 総合相談支援事業
- 2 権利擁護事業
- 3 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業
- 4 認知症総合支援事業
- 5 在宅医療・介護連携推進事業
- 6 介護予防・日常生活支援総合事業
- 7 介護予防支援事業

以下、本所及び各支所の事業報告項目

拠点区分	サービス区分	事業名	
1. 法人運営事業	1. 法人運営事業	本所業務	<ul style="list-style-type: none"> ○理事会の開催 (9回) <ul style="list-style-type: none"> ※ 内、4回は「決議の省略」 ○評議員会の開催 (5回) <ul style="list-style-type: none"> ※ 内、3回は「決議の省略」 ○監査会の開催 (1回) ○監事による現地監査 (宇和、明浜、三瓶支所) ○評議員選任・解任委員会 (2回) ○経営会議の開催 (6回) ○業務執行会議の開催 (11回) ○規則及び諸規程の整備 ○法人業務の運営 ○本所・各支所間の連絡調整 ○職員研修委員会の開催 (4回) ○職員研修会の開催 本所・宇和支所 各1回 ○個人面談の実施 ○愛媛県社会福祉大会への参加 (9名)
	2. 支所法人運営事業	野村業務	<ul style="list-style-type: none"> ○全戸会員制会費の推進 ○車輛の維持・管理
	3. まごころ銀行運営事業	本所業務	<ul style="list-style-type: none"> ○まごころ銀行運営委員会の開催 (2回) ○活用事業 (5,846,983円) <ul style="list-style-type: none"> ・南予里親会への助成 30,000円 ・福祉大会費用 985,407円 ・社協広報誌作成費等 607,536円 ・社協ホームページ運営費等 80,992円 ・災害ボランティア研修会等 233,380円 ・地域福祉活動計画中間評価関係 27,711円 ・非常食整備 ※463,039円 ・給食サービス ※497,450円 ・車両整備 (2台) ※2,764,469円 ・運営委員等旅費 67,500円 ・お礼状等 (和紙・線香他) 89,499円 <p>注) ※は、社会福祉充実計画に基づくもの</p>
		野村業務	<ul style="list-style-type: none"> ○預託件数 109件 (金銭預託：108件、物品預託：1件) ○預託金額 2,966,087円

拠点区分	サービス区分	事業名	
			<p>○活用事業 (1,440,253 円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者生活支援事業 1,046,043 円 ・家族介護支援事業 35,830 円 ・給食サービス事業 358,380 円
2. 地域福祉活動事業	4. 調査・企画・広報事業	本所業務	<p>○社協広報「おあしす」の発行 (年5回)</p> <p>○社協ホームページ・フェイスブックの運用</p> <p>○地域食堂の研究・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の開催1回、視察中止2件 <p>○フード・ドライブの研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業報告【4】-4-(5)に同じ <p>○地域協働ネットワークの研究・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会等5回参加 <p>○災害時対応マニュアルの見直しに伴う研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域支え合いセンター運営ガイドライン策定委員会 2回参加 <p>○地域課題研修会及び職員研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会等への参加 <p>○地域福祉活動計画の中間報告の実施 (委員会・座談会等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会2回、座談会7回 <p>○災害ボランティア養成講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中級編の開催 <p>○地域づくり組織及び公民館との連携・情報共有</p> <p>○市社会福祉大会の開催 (11/12)</p>
		野村業務	<p>○野村だよりの発行 (年12回)</p> <p>○フェイスブックの運営 9回投稿</p> <p>○地域食堂の研究・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の実施 <p style="padding-left: 20px;">令和4年8月23日 実施</p> <p style="padding-left: 20px;">参加者：27名</p> <p style="padding-left: 20px;">内 容：みんなでつくる地域の居場所 地域食堂について知ろう</p> <p style="padding-left: 20px;">講 師：特定非営利法人u. grandma japan 代表理事 松島 陽子 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会や地域の活動に参加 <p style="padding-left: 20px;">(研修会) 1回</p> <p style="padding-left: 20px;">(地域の活動に参加) 2箇所</p>

拠点区分	サービス区分	事業名
		<p>○野村地区住民座談会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野村・溪筋・中筋・大和田・横林地区 日 時：10月18日 19：00～21：00 場 所：野村公民館 3階 参加者：45人 ・惣川地区 日 時：11月4日 14：00～16：00 場 所：惣川公民館 参加者：19人 ・大野ヶ原地区 日 時：10月28日 14：00～16：00 場 所：大野ヶ原集会所 参加者：9人 <p>○地域づくり組織及び公民館との連携・情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館訪問等：野村地区 6回 溪筋地区 5回 中筋地区 8回 貝吹地区 6回 横林地区 9回 惣川地区 6回
	5. 地区社協育成事業	
	6. 高齢者生活支援事業	<p>本所業務</p> <p>野村業務</p> <p>○ふれあい・いきいきサロン事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サロン 49箇所 <p>○サロン交流研修会の開催</p> <p>サロン参加者 32名</p> <p>実施日：令和5年2月21日（木）</p> <p>内 容：・各機関よりお知らせ ・各サロンの意見交換会</p> <p>○安心カードみまもり支援事業</p> <p>「安心キット」利用実績（令和5年3月末現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用世帯数 415世帯 ・利用者数 520人 <p>（内訳）</p> <p>□独居世帯（75歳以上）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用世帯数 263世帯 ・利用者数 263人

拠点区分	サービス区分	事業名
		<p>□高齢者世帯（75歳以上）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用世帯数 95世帯 ・利用者数 190人 <p>□身体障害者等手帳所持者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用世帯数 19世帯 ・利用者数 20人 <p>□その他（必要と思われる方）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用世帯数 38世帯 ・利用者数 47人
	7. 家族介護支援事業	<p>野村業務</p> <p>○紙おむつ配布（社協独自）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年6回 延べ83人 <p>○車いす貸与（短期間） 15件</p>
	8. 給食サービス事業	<p>野村業務</p> <p>○給食サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年12回 延べ配食数 2,528食
	9. ボランティア活動 推進事業	<p>野村業務</p> <p>○ボランティア登録数</p> <ul style="list-style-type: none"> ①個人 0人 ②団体 4団体 所属人員 89人 ③ボランティア保険加入者 114人 ④その他の団体 1団体 所属人員 43人 <p>○ボランティア研修会</p> <p>令和4年8月23日地域食堂の推進に合わせて実施</p> <p>○ふれあい郵便</p> <p>月1回：対象者数（令和4年度当初） 197人</p> <p>○夏休みチャレンジ☆ボランティア</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数 31人 ・参加者 野村小学校 11人 野村中学校 10人 野村高等学校 10人 ・協力 野村保育所 西予市野城総合福祉協会

拠点区分	サービス区分	事業名	
	10. 生活支援体制整備事業	本所業務	<ul style="list-style-type: none"> ○生活支援コーディネーターの設置 (第1層) ○協議体の設置・運営 (第1層) 3回 ○ポイント制ボランティアの推進 登録者 50人 ○プレミアムポイントボランティアの推進 登録者 13人 ○介護予防サポーター連絡会の協働 2回 ○介護予防サポーターステップアップ研修の開催 6回(延べ65人参加) ○集いの場(サロン等)づくり サロン研修会 市内 2回開催 集いの場への訪問 ○「地域のお宝」冊子の作成 ○「心のバリアフリー」推進の協働
	野村業務	<ul style="list-style-type: none"> ○第2層協議体委員の選任実施 ○介護予防サポーター・ステップアップ研修会 日時: 令和4年6月7日 場所: 野村公民館 3階ホール 内容: 健康づくり研修会 (主催 野村町老人クラブ) 参加者: 15名 ・ポイント制ボランティア 32名 ・プレミアム・ポイント事業 7名 ○地域の集いの場づくりの推進及び活動活性化の支援 ・集いの場への訪問 30回 ○関係機関・団体との連携 32回 ・地域の会議等(自治振や学校など)に参加 ○新しい生活様式での地域の支え合い活動の推進 	
	11. 福祉等総合相談事業	野村業務	<ul style="list-style-type: none"> ○法律相談 年6回 相談件数 22件 ○心配ごと 年12回 相談件数 7件
	12. 福祉サービス利用援助事業	野村業務	野村地区利用者1人
	13. 法人後見事業	野村業務	野村地区受任1件 月1回施設へ訪問

拠点区分	サービス区分	事業名	
	14. 生活福祉資金貸付事業	本所業務	<p>○県社協、各支所、福祉事務所等との連絡調整</p> <p>◇新型コロナウイルス対応特例貸付</p> <p>○貸付件数</p> <p>緊急小口資金（特例） 6件①</p> <p style="text-align: right;">1,200,000円⑦</p> <p>総合支援資金（特例）</p> <p>初回貸付 7件②</p> <p style="text-align: right;">3,100,000円⑧</p> <p>合計 ①+② 13件</p> <p style="text-align: right;">⑦+⑧ 4,300,000円</p> <p>○相談件数</p> <p>明浜支所 1件</p> <p>宇和支所 22件</p> <p>城川支所 1件</p> <p>野村本所 14件</p> <p>三瓶支所 7件</p> <p style="text-align: right;">合計 45件</p>
		野村業務	<p>○貸付件数 0件</p> <p>○相談件数 16件</p>
	15. 小口資金貸付事業	宇和業務	
3. 共同募金配分事業	16. 一般募金配分金事業	本所業務	<p>○身体障害者協会活動助成（市身障協会へ）</p> <p>○手をつなぐ育成会助成（2地区）</p> <p>○福祉協力校助成（21校）</p> <p>○少年の日記念品贈呈事業</p> <p style="text-align: center;">@1,500円×280人</p> <p>○民生児童委員協議会活動助成（市民協へ）</p> <p>○更生保護女性会活動助成</p> <p style="text-align: center;">（市更生保護女性会へ）</p> <p>○ボランティア団体助成 15団体</p> <p>○地域食堂の推進</p>
		野村業務	<p>○お年寄りと子供の談話室助成 3地区</p> <p>○わたしへのごほうび講座</p> <p>実施日：令和5年2月6日（月）</p> <p>場 所：野村児童館</p> <p>内 容：セルフケアで心も体もリフレッシュ</p> <p>講 師：コンディショニングインストラクター 和氣 麻絵 氏</p> <p>参加者：15人（その内、子ども7人）</p> <p>○イベントでのパルーン配布 中止</p>

拠点区分	サービス区分	事業名	
			<ul style="list-style-type: none"> ○子供会活動助成 4 地区 ○見守りネットワークの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・研修会 6 箇所 参加人数 208 人 ・見守り対象者 146 人 ・集落員 (ボランティア) 218 人 ○災害用機材整備事業 防災すごろくの購入
4. 居宅介護等事業	17. 歳末たすけあい配分事業	本所業務	<ul style="list-style-type: none"> ○施設配分 特産品の送付 28施設 (6.19名) ○養護施設 義援金 30人 支度金 2人 ○療育センター 義援金 14人
		野村業務	<ul style="list-style-type: none"> ○餅配分 214 世帯 226 人 ○低所得世帯 0 世帯 0 人 ○作業所支援 1 件 ○惣川クリスマス会 新型コロナウイルス感染防止の為 中止
	18. 居宅介護支援事業	野村業務	<ul style="list-style-type: none"> ○令和5年3月末現在 (162人) 介護予防支援受託 (4人) <ul style="list-style-type: none"> ・要支援1 2人 ・要支援2 2人 第1号介護予防支援受託 (3人) <ul style="list-style-type: none"> ・事業対象 3人 介護保険 (155人) <ul style="list-style-type: none"> ・要介護1 65人 ・要介護2 48人 ・要介護3 21人 ・要介護4 13人 ・要介護5 8人
19. 訪問介護事業	本所業務	<ul style="list-style-type: none"> ○介護職員処遇改善加算 介護職員 前期一時金 (12月) 25人 介護職員 後期一時金 (5月) 25人 	
	野村業務	<ul style="list-style-type: none"> ○令和5年3月末現在 (21人) <ul style="list-style-type: none"> ・要介護1 11人 ・要介護2 6人 ・要介護3 4人 ・要介護4 0人 ・要介護5 0人 	
20. 訪問入浴介護事業	本所業務	<ul style="list-style-type: none"> ○介護職員処遇改善加算 介護職員 前期一時金 (12月) 4人 	

拠点区分	サービス区分	事業名	
	21. 障がい福祉サービス事業		介護職員 後期一時金 (5月) 5人
		本所業務	○福祉・介護職員処遇改善加算 介護職員 前期一時金 (12月) 17人 介護職員 後期一時金 (5月) 18人
		野村業務	○令和5年3月末現在 4人
	22. 第1号訪問事業	本所業務	○介護職員処遇改善加算 介護職員 前期一時金 (12月) 25人 介護職員 後期一時金 (5月) 25人
		野村業務	○令和5年3月末現在 (12人) ・要支援1 6人 ・要支援2 6人 ・事業対象 0人
	23. 第1号通所事業	野村業務	○令和5年3月末現在 50人
24. 地域生活支援事業	野村業務	○令和5年3月末現在 0人	
6. 介護用品販売事業	32. 介護用品販売事業		

介護職員等の処遇改善については、処遇改善加算対象外の介護職員等についても処遇改善加算事業に準じて改善を図った。

○ 処遇改善加算対象外の状況

・訪問入浴介護	前期一時金 (12月)	2人
	後期一時金 (5月)	2人
・第1号通所	前期一時金 (12月)	2人
	後期一時金 (5月)	2人

拠点区分	サービス区分	事業名
1. 法人運営事業	1. 法人運営事業	
	2. 支所法人運営事業	○支所の運営事務 ○全戸会員制会費の推進 ○車輛の維持・管理
	3. まごころ銀行運営事業	○預託件数 11件 ○預託金額 313,000円 ○活用事業(200,000円) ・高齢者生活支援事業 100,000円 ・給食サービス事業 100,000円
2. 地域福祉活動事業	4. 調査・企画・広報事業	○明浜支所だよりの発行(年4回) ○明浜小地区座談会 0回
	5. 地区社協育成事業	
	6. 高齢者生活支援事業	○ふれあいいいききサロン事業 ・高齢者サロン 7箇所 ・子育てサロン 1箇所 ・サロン研修会 参加者人数 17人 ○安心カードみまもり支援事業 「安心キット」利用実績(令和5年3月末現在) ・利用世帯数 104世帯 ・利用者数 126人 (内訳) □独居世帯(75歳以上) ・利用世帯数 76世帯 ・利用者数 76人 □高齢者世帯(75歳以上) ・利用世帯数 22世帯 ・利用者数 44人 □身体障害者等手帳所持者 ・利用世帯数 4世帯 ・利用者数 4人 □その他(必要と思われる方) ・利用世帯数 2世帯 ・利用者数 2人
	7. 家族介護支援事業	○車いす貸与(短期間) 10件
	8. 給食サービス事業	○給食サービス 年12回 延べ1,666食

拠点区分	サービス区分	事業名
	9. ボランティア活動 推進事業	○ボランティア登録数 ①個人 0人 ②団体 6団体 団体所属人員 78人（他の団体と重複8人） ③ボランティア保険加入者 99人 ④その他団体 2団体 その他団体所属人員 20人 ※ボランティア活動を主目的としていない団体 ○福祉協力校 2校 明浜小学校（5年生）福祉教育講座 参加者 18人 ○福祉関係備品貸出 0件
	10. 生活支援体制整備 事業	○生活支援コーディネーターの設置（第2層） ○ポイント制ボランティア登録者 0人 ○プレミアムポイント登録者 0人 ○介護予防サポーターステップアップ研修会 2回 日 時：7月1日、3月13日 会 場：狩江公民館2階大ホール 参加者：11名、10名 ○地域の集いの場づくりの推進及び活動活性化の支援 ・集いの場への訪問 11回 ○関係機関・団体との連携 30回 各公民館の訪問や地域づくり組織の理事会等に参加 ○新しい生活様式での地域の支え合い活動の推進
	11. 福祉等総合相談事業	○法律相談 年3回 相談件数 9件 ※2月については、相談予約0件のため中止 ○心配ごと相談 年8回 相談件数 7件 ○相談員研修会 日 時：3月7日 会 場：西予市役所明浜支所大会議室 参加者：17人
	12. 福祉サービス利用 援助事業	
	13. 法人後見事業	
	14. 生活福祉資金貸付 事業	○貸付件数 0件 ○相談件数 2件
	15. 小口資金貸付事業	

拠点区分	サービス区分	事業名
3. 共同募金配分事業	16. 一般募金配分金事業	○西予市民劇団「もんたかな」出前講座 日時：12月8日 会場：明浜中学校体育館 受講者：小・中学生 112人 ○おはなし会 0回 ※新型コロナウイルス感染症拡大につき中止。 ○ちいきカフェ 2回 参加者 延べ26人
	17. 歳末たすけあい配分事業	○歳末たすけあい配分 ・昔のおもちゃで遊ぼう（幼児と高齢者の交流会） 高山保育園、俵津保育所 ・地域の集いの場促進（ベンチの設置） 高山地区
4. 居宅介護等事業	18. 居宅介護支援事業	
	19. 訪問介護事業	
	20. 訪問入浴介護事業	
	21. 障がい福祉サービス事業	
	22. 第1号訪問事業	
	23. 第1号通所事業	
	24. 地域生活支援事業	
6. 介護用品販売事業	32. 介護用品販売事業	○紙おむつ販売 年間利用者数 16人 販売回数 63回

拠点区分	サービス区分	事業名
1. 法人運営事業	1. 法人運営事業	
	2. 支所法人運営事業	○支所の運営事務 ○全戸会員制会費の推進 ○車輛の維持・管理
	3. まごころ銀行運営事業	○預託件数 47 件 ○預託金額 1,239,912 円 ○活用事業 (2,330,133 円) ・高齢者生活支援事業 809,092 円 ・給食サービス事業 1,521,041 円
2. 地域福祉活動事業	4. 調査・企画・広報事業	○宇和支所だよりの発行 (年4回) ○住民座談会 1 回
	5. 地区社協育成事業	○地区社協育成助成 ・7地区社協 (一般会費の約50%を助成)
	6. 高齢者生活支援事業	○ふれあいいきいきサロン事業 ・高齢者サロン 35 箇所 ・子育てサロン 1 箇所 ・障害者サロン 1 箇所 ・解散 1 箇所 ・その他集いの場 0 箇所 ・サロン交流研修会 0 回 ○安心カードみまもり支援事業 「安心キット」利用実績 (令和5年3月末現在) ・利用世帯数 493 世帯 ・利用者数 600 人 (内訳) □独居世帯 (75 歳以上) ・利用世帯数 342 世帯 ・利用者数 342 人 □高齢者世帯 (75 歳以上) ・利用世帯数 106 世帯 ・利用者数 213 人 □身体障害者等手帳所持者 ・利用世帯数 18 世帯 ・利用者数 18 人 □その他 (必要と思われる方) ・利用世帯数 27 世帯 ・利用者数 27 人

拠点区分	サービス区分	事業名
	7. 家族介護支援事業	○車いすの貸与（短期間） 43件 ○在宅介護者の集い ※中止
	8. 給食サービス事業	○給食サービス（7地区で実施） ・各地区年12回 配食数延べ 7,854食 ※外注
	9. ボランティア活動 推進事業	○ボランティア登録数 ①個人 1人 ②団体 12団体 団体所属人員 179人 ③ボランティア保険加入者 358人 ④その他団体 4団体 その他団体所属人員 119人 ○ボランティア養成講座 ・朗読・読み聞かせ講座（全5回） 受講生11人 修了者数6人 ・朗読ボランティア現任研修会 年間3回開催 参加者数延べ40人 ・聴き上手講座（傾聴講座）（全5回） 受講生16人 修了者数7人 ・点字講座（全10回） 受講生5人 修了者数5人 ・こころの健康を学ぶ～精神保健編（全2回） ※コロナの影響で全3回から2回に変更 受講生10人 ○福祉ふれあい体験ボランティア ※中止 ○西予市ボランティア連絡協議会 総会・研修会 総会 書類決裁 34団体（37団体中） 研修会 2/18 無観客開催（後日、せいよCATVで放映） ○南予地域ボランティア交流会への協力 ※中止 ○福祉教育推進事業 ・小学校（2校）2回 延べ87人 ・中学校 4回 延べ648人 ○福祉関係備品貸出 11件
	10. 生活支援体制整備事業	○生活支援コーディネーターの設置（第2層） ○ポイント制ボランティア登録者 13人 ○プレミアムポイント登録者 6人 ○介護予防サポーターステップアップ研修会 1回 実施日：令和4年5月27日（金）

拠点区分	サービス区分	事業名
		<p>会 場：西予市教育保健センター4階大ホール 内 容：フレイル予防（講話と実技）、意見交換 講 師：訪問看護ステーションくるみ南予 参加者：17人</p> <p>○地域の集いの場づくりの推進及び活動活性化の支援 ・集いの場への訪問 37回</p> <p>○関係機関・団体との連携 12回 地区社協の会議、区長との話し合い等に参加</p> <p>○新しい生活様式での地域の支え合い活動の推進</p>
	11. 福祉等総合相談事業	<p>○法律相談所 年 6回 相談件数 32件 ○心配ごと相談所 年 24回 相談件数 18件 ○登記相談 年 6回 相談件数 20件</p>
	12. 福祉サービス利用 援助事業	<p>○令和5年3月末現在 利用者数 7人 （専門員援助 2人、支援員援助 5人） 利用相談件数 12件 （問合せ8件、初回相談4件） 相談援助 190件</p>
	13. 法人後見事業	<p>○令和5年3月末現在 受任件数1件（野村地区） ○訪問回数 11回 ※11月については、コロナの影響で訪問中止</p> <p>○会議の開催 ・運営委員会 1回 ・受任審査会 0回</p>
	14. 生活福祉資金貸付 事業	<p>○貸付件数 2件 ○相談件数 37件</p>
	15. 小口資金貸付事業	<p>○貸付件数 4件 ○相談件数 5件</p>
3. 共同募金配分事業	16. 一般募金配分金事業	<p>○高齢者支援事業 ・ふれあい暑中見舞い事業 対象 80歳以上一人暮らし高齢者 395人 ・一人暮らし高齢者激励会(助成) 241人(6箇所) ・地域の縁側事業(助成) 1箇所 ・小地域集いの場育成事業 7人(1箇所)</p> <p>○障害児・者福祉活動事業 ・「おイネ号」で旅をしよう!Part20 実施日：令和4年11月23日(水) 行 先：四国西予ジオミュージアム他</p>

拠点区分	サービス区分	事業名
		<p>参加者：障害者、高齢者、ボランティア 25名</p> <p>○児童・青少年福祉活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わくわくステージ 実施日：令和4年10月29日（土） 内 容：マジックショー 会 場：宇和児童館（ハロウィンパーティーと同日開催） 参加者：333人 ・せいよ☆子ども映画まつり 実施日：令和4年10月23日（日） 上映作品：アナと雪の女王2 会 場：宇和文化会館 参加者：74人 <p>・青少年健全育成事業（地区社協へ助成） 7箇所</p> <p>○子育て支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと一緒に♪ヨガ教室 4回開催 参加者数延べ 37人 ・私へのごほうび講座 5回開催 参加者数延べ 30人
	17. 歳末たすけあい配分事業	<p>○宇和地区作業所等助成 2施設</p> <p>○低所得世帯 17世帯・26人</p> <p>○在宅介護者 49人</p> <p>○交通災害遺児 0人</p> <p>○在宅心身障害児 7人</p>
4. 居宅介護等事業	18. 居宅介護支援事業	<p>○令和5年3月末現在（197人）</p> <p>介護予防支援受託（7人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要支援1 5人 ・要支援2 2人 <p>第1号総合事業受託（1人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業対象 1人 <p>介護保険（189人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要介護1 78人 ・要介護2 57人 ・要介護3 25人 ・要介護4 21人 ・要介護5 8人

令和4年度 事業報告項目

宇和支所

拠点区分	サービス区分	事業名
	19. 訪問介護事業	○令和5年3月末現在(34人) ・要介護1 16人 ・要介護2 14人 ・要介護3 1人 ・要介護4 1人 ・要介護5 2人
	20. 訪問入浴介護事業	○令和5年3月末現在(16人) ・要介護1 0人 ・要介護2 3人 ・要介護3 1人 ・要介護4 5人 ・要介護5 7人
	21. 障がい福祉サービス事業	○令和5年3月末現在 13人 (居宅介護 12人、同行援護 1人)
	22. 第1号訪問事業	○令和5年3月末現在(46人) ・要支援1 14人 ・要支援2 28人 ・事業対象 4人
	23. 第1号通所事業	
	24. 地域生活支援事業	○令和5年3月末現在 2人
6. 介護用品販売事業	32. 介護用品販売事業	

拠点区分	サービス区分	事業名
		<p>(内訳)</p> <p>□独居世帯 (75歳以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用世帯数 122世帯 ・利用者数 122人 <p>□高齢者世帯 (75歳以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用世帯数 38世帯 ・利用者数 75人 <p>□身体障害者等手帳所持者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用世帯数 9世帯 ・利用者数 9人 <p>□その他 (必要と思われる方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用世帯数 7世帯 ・利用者数 7人 <p>○高齢者の生きがいと健康づくりクロッケー大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時：令和4年7月14日 (木) 午前8時～ ・場 所：城川総合運動公園 グラウンド ・参加者：クロッケー愛好者 16チーム <p>※今年度から社協及び老人クラブのクロッケー大会を一括して共催として開催</p>
	7. 家族介護支援事業	○車いす貸与 (短期間) 3件
	8. 給食サービス事業	<p>○給食サービス (毎月1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 12回 (弁当：9回 パン食：3回) ・延べ配食数 2,469食 ・ボランティア人数 2人 <p>※パン食仕分け 1人 配食 1人</p>
	9. ボランティア活動推進事業	<p>○ボランティア登録数</p> <ul style="list-style-type: none"> ①個人 0人 ②団体 5団体 団体所属人数 93人 ③ボランティア活動保険加入者 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録者 93人 ・一般住民 61人 ④その他の団体等 0団体 所属人数 0人 <p>※ボランティア活動保険の請求 0件</p>

拠点区分	サービス区分	事業名
		<p>○夏休みチャレンジ☆ボランティア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者 城川小学校 8人 野村小学校 2人 城川中学校 1人 野村中学校 2人 野村高等学校 0人 ・協力 認定こども園しろかわ保育所 西予市野城総合福祉協会 <p>○福祉教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉体験教室依頼なし <p>○福祉関係備品貸出 3件</p> <p>○ボランティア研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：令和4年7月22日（金） 13:30～ ・場所：西予市城川支所 3階「大会議室」 ・内容：講話と実技 「ゆる～り筋肉体操&お笑い脳トレ」 ・講師：あけぼの治療院 作業療法士 井神 玲子 氏 ・対象者：ボランティア関係者 11人 ※第1回介護予防ステップアップ研修会と兼ねて開催
	10. 生活支援体制整備事業	<p>○協議体の設置・運営（第2層）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ポイント制ボランティア登録者 1人 ○プレミアム・ポイント登録者 0人 ○地域の集いの場づくりの推進及び活動活性化の支援 3箇所 ○介護予防サポーターステップアップ研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア研修会と兼ねて開催 ○新しい生活様式での地域の支え合い活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・集いの場への訪問 16回 ○関係機関・団体との連携 29回 <ul style="list-style-type: none"> ・各公民館訪問：調査・企画・広報事業で掲載
	11. 福祉等総合相談事業	<ul style="list-style-type: none"> ○法律相談 年6回 相談件数 15件 ○心配ごと相談 年6回 相談件数 3件
	12. 福祉サービス利用援助事業	

拠点区分	サービス区分	事業名
	13. 法人後見事業	
	14. 生活福祉資金貸付事業	○貸付件数 0件 ○相談件数 2件
	15. 小口資金貸付事業	
3. 共同募金配分事業	16. 一般募金配分金事業	○紙おむつの配布 ・利用者数 21人 ・配布月 5月・10月(年2回) ※上段以外の月は、随時配布 ○赤い羽根共同募金の広報啓発活動 ・城川小学校において、壁新聞による周知・啓発活動 ・城川中学校において、ポスター、クリアファイルによる周知・啓発活動
	17. 歳末たすけあい配分事業	○歳末たすけあい義援金の配布 ・在宅生活世帯 32世帯
4. 居宅介護等事業	18. 居宅介護支援事業	
	19. 訪問介護事業	○令和5年3月末現在(18人) ・要介護1 9人 ・要介護2 2人 ・要介護3 3人 ・要介護4 3人 ・要介護5 1人
	20. 訪問入浴介護事業	
	21. 障がい福祉サービス事業	○令和5年3月末現在 0人
	22. 第1号訪問事業	○令和5年3月末現在(18人) ・要支援1 8人 ・要支援2 8人 ・事業対象 2人
	23. 第1号通所事業	○令和5年3月末現在 40人
	24. 地域生活支援事業	○令和5年3月末現在 0人
6. 介護用品販売事業	32. 介護用品販売事業	

拠点区分	サービス区分	事業名
1. 法人運営事業	1. 法人運営事業	
	2. 支所法人運営事業	○支所の運営事務 ○全戸会員制会費の推進 ○車輛の維持・管理
	3. まごころ銀行運営事業	○預託件数 8件 ○預託金額 613,082円 ○活用事業(200,000円) ・高齢者生活支援事業 200,000円
2. 地域福祉活動事業	4. 調査・企画・広報事業	○支所だよりの発行(年3回)
	5. 地区社協育成事業	
	6. 高齢者生活支援事業	○ふれあいいいききサロン事業(10サロン) ・高齢者サロン 10箇所 ・子育てサロン 0箇所 ・障害者サロン 0箇所 ・休止 2箇所 ・解散 2箇所 ・その他集いの場 4箇所 ○安心カードみまもり支援事業 「安心キット」利用実績(令和4年3月末現在) ・利用世帯数 272世帯 ・利用者数 326人 (内訳) □独居世帯(75歳以上) ・利用世帯数 201世帯 ・利用者数 201人 □高齢者世帯(75歳以上) ・利用世帯数 47世帯 ・利用者数 94人 □身体障害者等手帳所持者 ・利用世帯数 6世帯 ・利用者数 6人 □その他(必要と思われる方) ・利用世帯数 18世帯 ・利用者数 25人

令和4年度 事業報告項目

三瓶支所

拠点区分	サービス区分	事業名
	7. 家族介護支援事業	○車いす貸与（短期間） 18件
	8. 給食サービス事業	○独居世帯給食サービス（80歳以上） 年3回 延べ752食 ○高齢者世帯給食サービス（80歳以上） 年3回 延べ589食 ○独居世帯ヤクルト配布（80歳以上） 年2回 延べ499食 ○高齢者世帯ヤクルト（80歳以上） 年2回 延べ386食
	9. ボランティア活動 推進事業	○ボランティア登録数 ①個人 1人 ②団体 8団体 団体所属人数 134人 ③ボランティア活動保険加入者 106人 ④その他団体 1団体 その他団体所属人数 42人 ○ふれあい暑中見舞い 協力：三瓶中学校生徒 118人 対象：独居高齢者 262人 ○ふれあいボランティア コロナの影響により中止 ○福祉関係備品貸出 0件
	10. 生活支援体制整備 事業	○生活支援コーディネーターの設置（第2層） ○ポイント制ボランティア登録者 4人 ○プレミアムポイント登録者 0人 ○介護予防サポーターステップアップ研修会 日時：令和4年8月4日（木）13：30～ 場所：西予市役所三瓶支所2階 対象：介護予防サポーター養成講座終了者 参加者：5人 ○地域の集いの場づくりの推進及び活動活性化の支援 ・集いの場への訪問 11回 ○関係機関・団体等との連携 13回 各公民館・地域づくり組織訪問 ○新しい生活様式での地域の支え合い活動の推進
	11. 福祉等総合相談 事業	○法律相談所 年6回 相談件数 17件 ○心配ごと相談所 年12回 相談件数 1件

拠点区分	サービス区分	事業名
	12. 福祉サービス利用 援助事業	
	13. 法人後見事業	
	14. 生活福祉資金貸付 事業	○貸付件数 0件 ○相談件数 13件
	15. 小口資金貸付事業	
3. 共同募金配分事業	16. 一般募金配分金 事業	○点字教室 日時：令和4年11月1日（火）14：00～ 場所：三瓶小学校4年生教室 対象：三瓶小学校4年生30人 ○手話教室 日時：令和4年11月10日（木）14：00～ 場所：三瓶小学校4年生教室 対象：三瓶小学校4年生30人
	17. 歳末たすけあい 配分事業	○在宅対象者配分 37世帯 83人 ○独居・高齢世帯お餅配布 357世帯 ○特産品配布 1施設
4. 居宅介護等事業	18. 居宅介護支援事業	
	19. 訪問介護事業	
	20. 訪問入浴介護事業	
	21. 障がい福祉サービ ス事業	
	22. 第1号訪問事業	
	23. 第1号通所事業	
	24. 地域生活支援事業	
6. 介護用品販売事業	32. 介護用品販売事業	

令和4年度 西予市地域包括支援センター 事業報告

I 西予市による西予市地域包括支援センター運営指針（抜粋）

1 地域包括ケアシステムの構築方針

西予市型共生社会の実現を目指した、地域包括ケアシステムの構築を推進する。

センターの設置責任者である市とセンターは協力し合い、「家族のきずなと地域のぬくもりを大切にすまちな西予」（第7期を継承した第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画将来像）を目指し“地域づくり”と“人づくり”により、介護・医療・福祉だけでなく地域も連携してともに支え助け合う地域包括ケアシステムの構築に向けて、関係機関と連携しながら、切れ目ない支援体制の確立に取り組む。

また、高齢者・障がい者・子どもなど支援が必要な市民全てを対象とした、地域そのものを支援する福祉体制を展開し、西予市型共生社会の実現を目指す。

さらに、高齢者の自立支援・介護状態の重度化防止に向けた取組及び介護給付適正化を一体的にとらえた施策の促進のための重点プログラム（第7期から継承）の推進に向けて市と協働して取り組む。

2 市とセンターの連携方針

市は、地域包括支援センター運営協議会を設置し、センターの公正・中立性の確保その他センターの円滑かつ適正な運営を図る。また、連絡会議を定期的開催するとともに、情報交換及び課題共有等を行い、センター機能強化を図る。

II 基本方針

高齢者が住み慣れた地域で、継続して尊厳あるその人らしい生活を送れるように支援することを目標とする。そのために、地域の保健・医療・福祉サービスや各種社会資源等の地域包括ネットワークを構築し、できる限り要介護状態にならないように、包括的・継続的に支援する。

III 長期目標

地域包括ケアシステムの推進強化に向けて保健・医療・福祉・介護の連携と住民活動等インフォーマルな活動や地域資源を活用したネットワークの推進に努め、共生社会の実現を目指す。

IV 短期目標

- 感染症対策を含めたセルフケアの充実と重度化予防支援により、元気な高齢者づくりを推進する
- ICTを融合し、新たな支援体制の具体化を図る
- 地域づくりを意識した地域包括ケアシステムを構成する多職種連携の基盤強化

V 事業実施状況

1 包括的支援事業

(1) 総合相談支援事業（法第115条の45第2項第1号）

《目的》高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、地域における関係者とのネットワークを構築する。

高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、関係機関又は制度の利用につなげる等の支援を行う。

《実施内容》

ア 地域での高齢者状況の実態把握早期対応の必要な高齢者を把握するために、民生児童委員より情報提供を受け、その情報をもとに該当者を取り巻く関係機関から情報収集を行い、訪問等で迅速に対応し、民生児童委員と情報共有を図った。

(ア) 各地区民生児童委員定例会や支部会等へ出席

(イ) 民生児童委員との連絡票を周知し、地域で把握されにくい事例を連携しながら情報収集し早期対応を実施した。

イ サロン等集いの場において健康相談対応と健康教室

(ア) サロンでの健康相談・講話等：11か所 151人

(イ) 社協事業等他の健康相談：9か所 64人

地区	サロンでの健康相談・講話等	他機関の事業との共催	テーマ等備考
宇和	3か所 58人	なし	フレイル・認知症予防について
明浜	2か所 27人	なし	認知症予防について
野村	6か所 66人	○社協主催 ・見守りネットワークづくり研修会 7か所 43人 ・サロンリーダー交流会 9人 ○健康づくり研修会『元気老人を目指して』 12人	フレイル予防、 認知症予防 ヒートショック予防 新型コロナウイルス感染症予防 地域包括支援センターの事業説明や周知 せいよ体操 等
城川	保健分野との一体的支援事業として共同。		フレイル予防 オーラルフレイル予防
三瓶	ポピュレーションアプローチを生活福祉課保健師等が主になって事業展開後、情報を共有。個別対応を担うように役割分担しており個別支援を行った。		

ウ 『自主グループ高齢者の集い』の後方支援

- ・野村地区 ・ハツラツ会 毎月2回（第2・4火曜日）開催支援
（但し4/12～5/24、1/10～2/28はコロナ感染防止に配慮し中止）
- ・脳卒中家族の会「てるてる会」：コロナ感染防止に配慮し休止

エ 総合相談の機関としては、初期段階での相談対応及び継続的・専門的な相談支援警察署、消防署、行政機関、見守りネットワーク推進員、区長、介護予防サポーター、地区住民等からの情報や本人及び家族、または、医療機関の医師や地域医療連携室、調剤薬局、居宅支援事業所の介護支援専門員や福祉事業関係者からの相談を受け、面談及び戸別訪問等を実施した。「連絡票」のツールを使い、情報共有を行った機関もある。

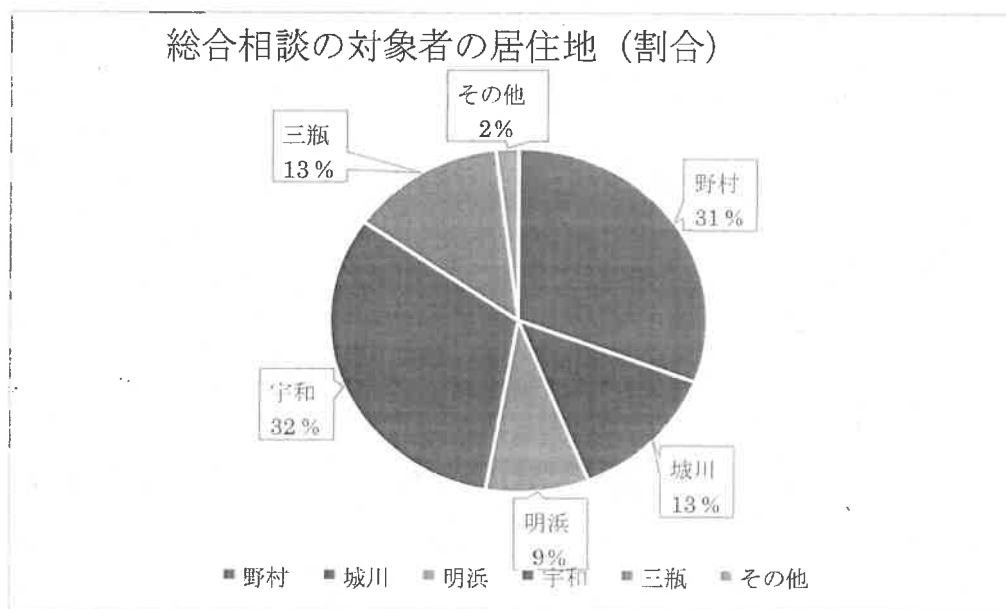
(ア) 個別の相談件数（延件数）

相談内容	件数
介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	1,088（件）

認知症相談件数	202（件）※総合相談件数の24.0%を占める
---------	-------------------------

(イ) 夜間・休日の電話対応件数（再掲）

	件数
本所	96（件）
支所	138（件）
合計	234（件）



(ウ) 介護・福祉・認知症出張相談所開設による相談件数:実績 12 件

地区	件数	開催頻度
明 浜	1	8 回/年
宇 和	2	毎月
野 村	8	毎月
城 川	1	奇数月
三 瓶	0	奇数月
合 計	12 (件)	

(エ) 地域における多様な社会資源（ネットワーク）と連携した支援の実施

○地域住民へ地域包括支援センター及び介護予防事業の啓発・PR

- ・民生児童委員協議会・サロン・介護予防サポーター養成講座・見守りネットワーク研修会等に出席し各種事業についての情報提供を行った。
- ・医療機関・調剤薬局を訪問し相談機関であることを周知した。
- ・包括新聞（夏号・秋冬号・春号）を発行し、サロン、給食サービス利用者、民生児童委員、相談利用者等に配布した。
- ・社協だより（5月）おあしす（9月、R5年1月）、広報せいよ（10月）、で事業紹介した。
- ・相談窓口であることを周知するためステッカーを作成。公的機関（市役所・警察署等）医療機関、調剤薬局、企業、店舗、公共施設等に配布し、トイレや窓口への設置を依頼した。 配布先：53 か所

ステッカー配布数：180 枚カード配布数：78 枚

○西日本豪雨災害後の復興支援に関すること

- ・市と社協による被災者の個別支援に関する会議に出席：3月16日

(オ) 権利擁護事業とリンクした地域ケア会議の実施○相談事例により権利擁護事業にて事例検討会を実施した。

(2) 権利擁護事業（法第 115 条の 45 第 2 項第 2 号）

《目的》地域の住民、民生児童委員、介護支援専門員等の支援だけでは十分に問題解決できない、適切なサービス等につながる方法が見つからない等の困難な状況にある高齢者が、地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、権利侵害の予防や対応、権利行使の支援を専門的・継続的な視点で行う。

《実施内容》

ア 高齢者虐待防止に関する広報及び相談支援

- (ア) 虐待防止及び早期発見早期対応のためのネットワークの構築チラシやリーフレット等を活用し、高齢者虐待対応の窓口及び相談支援機関であることや高齢者虐待防止に関する広報・啓発を実施した。
 - (イ) 民生児童委員の定例会等で、相談窓口であることを周知した。
 - (ウ) 本人の状態（心身・経済など）、家庭環境などにより関連機関や多職種連携での対応が必要な事例について、各専門機関と情報を共有した個別支援を実施。
- イ 困難事例への対応（セルフネグレクトの防止及び対応）、成年後見制度の啓発と活用支援の強化

(ア) 虐待事例について行政と連携協働し、他機関と連携を図り対応実施

虐待対応件数（延べ件数）	22（件）
相談経路は、担当の介護支援専門員や介護保険サービス事業所が一番多く、次いで医療機関からであった。老人福祉施設等への措置の支援については行政と協働しており、4年度は措置支援の該当者は無し。	

(イ) 相談のあった事例に対する必要に応じた関係機関との連携による支援

成年後見制度利用支援含む権利擁護相談件数	47（件）
成年後見制度市長申し立て要請件数	5（件）

(ウ) 成年後見制度普及啓発

社協だより・研修会にてパンフレット配布

ウ 消費者被害の防止

- (ア) 詐欺防止対策の周知を広報誌等で行った。
- (イ) 消費生活センターと連携を強化し、情報共有を行った。

エ 社会的弱者の支援体制の構築と事業関係者のスキルアップを目的とした地域ケア会議の実施

- (ア) 多職種による個別地域ケア会議を開催し情報共有・各機関との支援体制の構築に努めた。
- (イ) 身寄りのない人の支援シートを活用し、福祉課・長寿介護課等関係機関との連携強化とスムーズな連携体制を構築できた。
- (ウ) 法テラス弁護士による講座や困難事例に対する事例検討会やホットライン使用及びケース会議支援制度の活用により助言を得た。多重債務者の金銭管理や債務整理等を法テラスホットラインで相談するなど利用件数は増加傾向にある。
- (エ) 権利擁護関係者勉強会（事例検討会）をオンライン及び集合で定期的開催した。

参加者：法テラス弁護士、行政・医療・保健・福祉・介護の関係者延べ数 40 人

開催月	テーマ（地域課題含む）	備考
5月	・情報商材購入を複数社と契約し支払いが困難になった人の支援について ・多額の借金が判明した人への支援	

8月	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度利用後に債務整理を行ったケースの紹介 ・被害妄想による近所トラブルについて ・成年後見制度の今後について（動向） 	支援困難事例における連携についての指導助言を得る機会や関係機関協働の情報提供の場ともなっている。
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・多重債務者の未払い医療費の回収を含めた支援について ・成年後見制度利用支援事業報酬費助成について ・死亡保険金の受取人について 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・不安障害がある人の金銭管理と借金返済について ・セルフネグレクトにより介入が困難になった場合 ・認知症が疑われる人に対するお店の苦情対応について ・虐待対応について ・相続問題について 	

☞ 参加者へアンケート調査を実施した結果、支援体制のスムーズな構築や支援者の質の向上に効果的であると評価する。

(オ) 権利擁護研修会の開催（2回）

○開催日：令和4年8月23日

講演：『終活を学ぶ』

講師：一般社団法人エンディングパートナー

三瓶地区を対象にした周知活動を行い、地域住民や関係機関の28人が参加。

○開催日：令和4年11月22日

講演：『高齢者虐待について』

講師：とうおん弁護士事務所 高橋宏典弁護士介護事業所等

専門職53人が参加。

☞ 研修後、ケアマネジャー等の『虐待』に対する正しい理解に繋がり、虐待相談が増加したため、継続的な研修会実施の必要性があると評価する。

(カ) 権利擁護についての講演・講話

○福祉施設等への講話

演題『終活について』 講師：社会福祉士

対象者：宇和老人クラブ連合会女性部会（9人）

○西予市内主任介護支援専門員連絡会にて講話

演題『身寄りのない方の支援シートについて』

講師：社会福祉士 対象者：21人

(キ) エンディングノート（包括版）を作成し、周知や配布を行った。

配布部数：86部

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業（法第115条の45第2項第3号）

《目的》高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護支援専門員、主治医、地域の関係機関、在宅と施設の連携等、地域における多職種

相互の協働等による連携強化や体制づくりを行う。また、一人ひとりの高齢者の状況や変化に応じたケアマネジメントが重要であるため、自立した生活の維持に向けて包括的かつ継続的な支援ができるよう、個々の介護支援専門員に対する支援等を行う。

《実施内容》

ア 包括的・継続的なケア体制の構築（多職種連携体制の推進）

(ア) ICTクラウドシステム「kintone」事業の推進

事業概要：地域包括ケアシステム構築に向けてクラウドを活用し、多職種連携、顔の見える関係づくりを行うことができるシステム運用を目指す。ユーザー間での意見交換や各機関からの情報提供がリアルタイムにスピーディーに行える。

○ ユーザー数：287ユーザー（令和5年3月末現在）※図①添付

・中間評価、最終評価アンケートを実施し、結果をもとに、クラウドシステム運営委員会を2回開催し、運営改善に向けた協議を行った。また、ユーザーの利用意識が広がることやツールを有効に利活用することを目的に、スペース、スレッド、アプリの利用申請を自主的にできるようルールを作成した。

☞ コロナ禍の状況において、「kintone」の活用が増え、情報共有やオンライン（zoom）研修などICTを活用したネットワーク構築に大きく貢献していると評価する。

○ 研修会開催：ユーザーのリテラシー向上やモラルの向上を目的とし、『個人情報保護法について』の研修会を2回実施した。

日時：令和4年4月25日、令和4年10月31日

場所・方法：西予市教育保健センター4階（ハイブリッド形式にて実施）

講師：弁護士事務所たいよう所属 池本真彦 弁護士

○ 「kintone」事業についての視察や問い合わせ

・四日市市社会福祉協議会より

・富山県高岡市役所より

『重層支援体制整備の観点から利用のメリットについて』

・伊方町地域包括支援センター、伊方町町民課医療対策室の視察

『「Kintone」運用導入の経緯や現状、メリットやデメリット』

・北海道社会福祉協議会よりオンライン講演依頼

(イ) 民生児童委員協議会への積極的な参加と早期介入者への情報共有を行った。

☞ 今後、民生児童委員協議会との更なる連携強化の必要性のために顔の見える関係作りの必要性があると評価する。

(ウ) 介護支援専門員の質向上とネットワークの構築・活用

○西予市主任介護支援専門員連絡会の開催（開催回数：6回）

令和4年度のテーマ

- ・ケアマネジメント力の向上ができる
- ・事例検討会のスキルアップを目指し、地域課題を共通認識できる
- ・障がい分野、福祉分野との連携（シームレスな連携構築）

日時	目標・内容等
5月13日	<p>【グループワーク】</p> <p>テーマ：『地域ケア個別会議における地域課題』『主任介護支援専門員の立場や役割の再認識』『アセスメントについて』</p>
7月8日	<p>【講演】 演題「地域づくりへ向けた多職種連携強化と具体化」</p> <p>講師：愛媛県立医療技術大学 名誉教授 宮内 清子氏</p>
	<p>【報告会】 高齢者が集う場所にて実施した「食のアンケート調査」の報告</p>
9月16日	<p>【講話】</p> <p>○障害福祉サービスの制度や利用の流れについて（講師：福祉課担当者）</p> <p>○西予市における障がい福祉相談支援事業所から活動内容の紹介</p> <p>【地域ケア個別会議からの課題をもとにした事例検討会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい福祉サービスから介護保険サービスへ移行時のシームレスな連携支援体制について ・8050問題、高齢者と障がい者が生活し複合的課題を有する世帯への支援
11月11日	<p>【屋外活動】</p> <p>「介護の日」に合わせて、『働く世代の介護離職防止』を目的として西予市内の企業を訪問し、相談窓口の周知や介護支援専門員についての説明を行った。</p>
1月13日	<p>【講話】</p> <p>○生活保護法及び自立支援法の理解（講師：福祉課担当者）</p> <p>○避難行動支援者個別避難計画に関すること（講師：福祉課担当者）</p> <p>【グループワーク】 屋外活動の振り返りについて</p>
3月10日	<p>【グループワーク】</p> <p>テーマ「介護支援専門員業務のグレーゾーンについて考える」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア個別会議の事例から、身寄りのない方、認知症、独居高齢者等の見守り支援について ・民生児童委員協議会の活動との協同について <p>【講話】 ○身寄りのない方の支援シートについて（講師：包括社会福祉士）</p>

○西予市介護支援専門員連絡会の開催（開催回数：5回）

令和4年度のテーマ

- ・ケアマネジメント力の向上ができる
- ・事例検討会のスキルアップを目指し、地域課題を共通認識できる
- ・医療についての知識の向上を行い、医療との連携を深化させる

日時	目標・内容等
4月11日	オンラインにて開催 ○ケア会議について（講師：包括担当者） ○在宅医療介護連携推進事業より（講師：包括担当者） ○キントーン事業について（講師：包括担当者）
6月13日	ハイブリットにて開催 ○令和3年度ケアプラン点検を終えての振り返り（長寿介護課） 【講演】ゲートキーパー研修会（健康づくり推進課と協働） 演題「高齢者に対する心理的援助方法の習得Ⅱ」 講師：メンタルトレーナー 幸田裕司氏
8月12日	【特別研修会】オンライン開催 演題「効果的な事例検討会のあり方について学ぼう～パート1～」 講師：愛媛県介護支援専門員協会会長 矢川 ひとみ 氏
10月11日	【特別研修会】対面開催 演題「効果的な事例検討会のあり方について学ぼう～パート2～」 講師：愛媛県介護支援専門員協会会長 矢川 ひとみ 氏
12月19日	○事例検討会⇒コロナ感染防止のため中止
2月13日	【講話】 ○高齢者の栄養について（講師：健康づくり推進課 管理栄養士） ○高齢者の口腔ケアについて（講師：健康づくり推進課 歯科衛生士）

○オンライン研修（ミニ講座）

日時	内容等
5月11日	お薬の話（講師：薬剤師 井関 美奈氏）
7月6日	熱中症について（講師：市立野村病院 二宮 大輔Dr）
9月6日	防災・減災について（講師：日本防災士会 兵頭 和夫氏）
11月21日	健康寿命を延ばすために（講師：市立野村病院 河野 浩邦PT）
1月19日	講演 おうちに帰ろう（講師：たんぼぼ俵津診療所 永井 康則徳Dr）

エ 主任介護支援専門員による介護支援専門員への日常的個別指導・相談

(ア) 個別指導及び支援困難事例等への指導・助言

委託サービス担当者会議への出席	148 (回)
委託プラン・評価の確認	317 (件)

(イ) 長寿介護課と協働で、給付適正化事業としてケアプラン作成指導を通し、介護支援専門員への後方支援及びケアマネジメント指導

居宅介護支援事業所 (15 か所)	41 (件)
1年後の経過 (13 か所)	13 (件)
介護予防プランチェック (包括内部)	110 (件)

☞ ケアプラン点検においては、1件につき平均7問程度の確認作業が必要であった。介護支援専門員によるケアマネジメント力を高めるために、アセスメントの方法や気づきの視点などの学びが必要である。また、地域共生社会に視点を向け、本人が地域での生活を維持できるようなプラン作成への支援を行っていく必要性を感じる。

(ウ) 個別支援

制度等についての助言・指導	125 (件)
支援困難事例等への助言・協働	12 (件)

☞ 個別性のある目標設定で、本人の目標達成の意欲の出るケアプラン作成、また、本人の既往歴、現病から疾患の重度化予防の目線をもつプランニングの作成を支援の目標とした。

(エ) 関係機関との連携づくり

- ・ 個別支援では、西予市警察署と連携強化し、情報共有を図った。
- ・ 介護保険事業所連絡会 月1回 (宇和・野村) に参加した。サービス利用実績交換会を兼ねており、感染症拡大防止のために実績交換のみとなった。対面開催は7月と3月の2回開催。
- ・ 居宅支援事業所における事例検討会 (法人間事例検討会含む) 参加 (2回)

(オ) 医療・保健・介護・障がい等福祉分野の情報を集約した「高齢者サービスガイドブック」の作成

- ・ 2部構成「地域包括ケアシステム編」・「介護保険等サービス事業所編」

【配布及び提供方法】

- ・ 電子媒体で配信：「Kintone」ユーザー (289) へ配信
- ・ 「地域包括ケアシステム編」450冊、介護保険等サービス事業所編」65冊を製本し、西予市医師会員・西予市民生児童委員、その他関係機関へ配布した。

(カ) 地域ケア個別会議の開催と情報整理・抽出

自立支援を目的とした地域ケア個別会議

開催日時：毎月第3木曜日 15:00~17:00

事例対象者：自立支援を目的とした総合事業対象者及び要支援認定者あるいは要介護1

助言者：医師 薬剤師 保健師 栄養士 歯科衛生士 看護師 リハビリテーション (POS) 職 (作業療法士、理学療法士) 生活支援コーディネーター

◎ 情報整理課題抽出（一部のみ抜粋）

<p>① 認知症対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○独居認知症高齢者の地域支えあいの具体化 (チームオレンジ構想) ○家族など住民へ認知症理解の普及啓発 ○同じ境遇の方と交流 認知症カフェや家族会の情報提供 ○安否確認の方法と仕組みづくり ○孤食を防ぐ仕組み作り ○認知機能低下している人の薬管理
<p>② 在宅医療介護連携対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者に多い疾患、症状についての勉強会開催 ○疾患別ケアパスの必要性 ○脳血管疾患の再発予防 ○レスパイト入院の仕組み ○骨折入院中の方が、退院する際のリハビリ部門との連携 ○リハビリテーションに関する社会資源の把握
<p>③ 生活支援体制整備対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○社会資源整理の可視化 ○運転免許返納後の買い物難民 ○独居高齢者の見守り、安否確認サービスの必要性 ○介護保険サービス（デイサービス、ヘルパー）不足の地域がある ○サロン、地域カフェや行事等、活動中の集いの場への招待 ○集いの活性化。リハビリ職、ヨガ、柔道整復師などの介入依頼 ○将棋など、目的や得意分野を活かした集まり ○病気があっても集まれる場所づくり。脳血管疾患本人・家族会 ○地域に馴染みのない人（親の介護で帰省等）の孤立対策 ○通学見守り等本人の社会的役割作りと社会参加
<p>④ 一般介護予防対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自宅で出来る運動メニューの普及啓発 ○体操教室の自主化は、若い世代からの働きかけが必要 ○安全な場所で運動できる環境整備 ○低栄養の方へ栄養指導 ○健康課題など地区分析データの可視化 ○歯科医院がない地域における継続した口腔ケア指導の必要性
<p>0JT（事例提供者への指導・助言等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○障害部門との連携が必要 ○災害時要援護者避難支援制度の活用 ○家事動作工程確認表の活用 ○独居の方の見守り支援について：家族等連携・協力体制アセスメントの必要性。緊急通報装置、あんしんキットの活用 ○介護保険サービス卒業を視野に入れたリハビリ導入で、評価と機能低下予防のための仕組みづくり

(4) 認知症総合支援事業 (法第 115 条の 45 第 2 項第 6 号)

ア 認知症初期集中支援推進事業

《目的》認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる認知症初期集中支援チーム（おれんじ支援チーム）を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築する。

《事業内容》

(ア) おれんじ支援チームの体制

認知症サポート医（西予市医師会員の医師 8 人）と地域包括支援センター本所（看護師・社会福祉士各 1 人）・支所（看護師・社会福祉士各 1 人）

(イ) おれんじ支援チームの周知

訪問：市内医療機関・薬局 53 か所を訪問し、PR を行った。

「kintone」にて情報発信：介護・福祉関係事業所・行政・警察・消防等

(ウ) おれんじ支援チーム活動実績

チーム員会議	9 (件)
サポート医の訪問診療	1 (件)

(エ) 認知症対策検討会への参加

長寿介護課による認知症対策検討会（年 2 回開催）に出席し、支援チーム員の活動を報告した。

(オ) 介護保険サービス未利用者のアウトリーチ

《目的》認知症予防と早期発見対策の強化のために、訪問し、適切な医療や介護サービスへとつなぐこと。

《方法》要支援認定者において介護サービスの未利用の人で、介護認定情報の訪問調査・意見書のいずれかもしくは両方に認知症高齢者日常生活Ⅱa 以上かつ独居・高齢者世帯を対象とした。該当者へは、自宅訪問を実施し、必要に応じて介入、もしくは支援チームの周知を行った。

	対象	実施件数
本所	17 (人)	17 (人) 100%
支所	39 (人)	39 (人) 100%

(カ) おれんじ支援チーム作業部会の開催（毎月）チームの活動や個別事案から抽出された課題を共有し事業展開について検討した。

(キ) 認知症初期集中支援チーム員研修：1 人参加 11 月 5 日（オンライン研修）

イ 認知症地域支援・ケア向上事業

《目的》医療機関や介護サービス及び地域の支援機関の間の連携を図るための支援や認知症の人やその家族の支援業務を行う認知症地域支援推進員を配

置し、当該推進員を中心として、医療・介護等の連携強化等による、地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を図る。

(ア) 認知症地域支援推進員の配置と推進員とチーム員の連携

認知症地域支援推進員（包括内）	4（人）
-----------------	------

- 認知症総合支援事業作業部会の参加：6月・9月・2月
- 認知症地域支援推進員現任者WEB研修：1人 10月25日・26日

(イ) 認知症当事者と介護者の支援体制づくり

- 認知症カフェ（花草家）の開催の実施

介護者や当事者同士がお茶を飲みながら相談や雑談し、認知症等に関する情報提供ができる認知症カフェを介護予防サポーター8人と協同し開催した。令和4年から介護予防サポーターと包括職員2名体制で輪番制とした。

- 花草家の定例会（年4回：6月・9月・1月・3月）を開催し介護予防サポーターと運営面の課題解決を図った。

参加人数（延べ）	277（人）
----------	--------

(ウ) 介護・福祉・認知症相談日を設定し対応した。

(エ) 認知症グループホーム運営推進会議への出席（GH2か所）

(オ) 市主催の認知症家族教室に参加（宇和・野村）

(カ) 認知症に対する知識普及及び啓発

- 認知症サポーター養成講座

株式会社フジ宇和店職員：4人（5/26） 6人（11/17）

宇和中学校3年生・教員：158人（6/17）

- 認知症の講話

横林見守りネットワーク：32人 9月20日

野村ははおやの会：15人 7月17日

二及脳トレ教室：8人 11月10日

- 世界アルツハイマー月間イベント開催

フジ宇和店にて市民対象：70人 9月20日～9月22日

アルツハイマー月間（9月）に株式会社フジ宇和店と協働でイベント開催

メッセージツリーの展示、パンフレットの配布、認知症カフェ認知症サポーター養成講座の活動紹介、認知症サポート医による講話を実施

(キ) 権利擁護業務、総合相談支援業務とリンクした地域ケア会議の開催

(5) 在宅医療・介護連携推進事業（法第115条の45第2項第4号）

《目的》医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、本人が望む場所で自分らしく安心して生活できるよう、医療・介護の関係機関が連携して、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築を目指す。

《実施内容》

ア 定期的な会議の開催

(ア) 医療介護連携会議（年2回）

第1回；9月28日

（内容）事業の進捗状況報告

協議：「新型コロナウイルス感染症に関して各機関の現状と今後」、「市外病院への情報収集に関して」

第2回；3月8日

（内容）PDCAサイクルに沿った事業全体の報告

協議：目指すべき姿に近づけるために西予市で何ができるか2つの課題について意見交換。「圏域外の病院から情報を得られないケースがある」という課題に対して「圏域を超えて退院支援ルールが適応できるよう整備をしていく」と提言をまとめた。また「病院から自宅へ退院する場合にワンクッション必要な方がいる」「看取り期、難病の方等、レスパイトとして療養できる場が必要な方がいる」という課題に対して「西予市内の現存の病院、施設、サービス事業所の質と量を強化していく」と提言をまとめた。

(イ) 有床医療機関連携室・包括連携会議（年5回うち3回は事例検討会）

（内容）主に入退院支援の場面について協議。オンラインにて開催。

第1回（4月27日）：事業と本会議の目的、退院支援ルール等確認。

第2回（6月22日）：事例検討会実施。事例提供者は市民病院。

○関係者との情報共有が不十分なまま退院することが前提の相談となったケース
・退院先の選択肢も含め疾患別パスを作成し、院内でのカンファレンスや多職種での退院支援カンファレンスに活用検討要

第3回（8月31日）：事例検討会実施。事例提供者は野村病院。

○COVID-19陽性と判定されたが認知機能低下で自宅療養が困難なケース

・感染拡大行動、重症化、保健所への適切な応答発信等

第4回（11月16日）：事例検討会実施。事例提供者は三瓶病院。

○退院後の生活において家族間で意見がまとまらず、状況に関する理解力が低いと感じるケース

第5回（2月22日）：アンケート結果をもとに意見交換実施。

(ウ) 看取りの場面の作業部会

a. 「看取り」のカタチをつくる会（年4回）

第1回（5月11日）：事業と本会議の目的等確認。手引き作成検討。

第2回（7月13日）：令和4年度より始動した愛媛県在宅緩和ケア推進モデル事業の作業部会としての役割を有することの合意と方向性等の議論。

第3回（10月12日）：「在宅看取り」の流れを説明する住民向けパンフレット作成について協議。

第4回（1月11日）：パンフレット作成についての協議と次年度の予定

b. 緩和ケアコーディネーター・サポーターの会（年6回）

令和4年度発足。オンラインにて開催。

第1回（5月10日）：本会議の目的の共有とコーディネーターの役割を確認。

第2回（7月19日）：西予市での在宅緩和ケアを支援する上での実情の把握と課題抽出のため支援中のケース（がん罹患患者）で困りごと等について意見交換行なった。

第3回（9月27日）

【講演】 演題「緩和ケアにおける薬剤師の役割と薬剤について」

講師：レデイ薬局宇和インター店 薬剤師 安岡敏宏氏

第4回（11月8日）：在宅緩和ケア推進モデル事業「事例検討会」についての意見交換、同意書、連携フローについて協議した。

☞ 会参加者からコーディネーターの役割をより具体的に知りたい、学びたいとの意見があった。

第5回（3月14日）：評価と次年度についての意見交換を行なった。

☞ 勉強になったが、コーディネーターの役割に関してはまだはっきりとはわからないという意見が多数あった。次年度も会を継続し、コーディネーター・サポーター機能や活動内容を明確にし、役割について共通理解、共通認識を持つようにする。また、事例報告・検討を通じて経験値や技能の向上、西予市の現状把握を行なうこととする。

(エ) 医療介護連携推進チーム連絡会（月1回）

PDCA サイクルに沿って継続的に（目標・計画立案、イベント企画、広報活動、評価、見直し等を）事業展開した。

イ 西予市内の医療需要と社会資源について定量的な現状の把握

高齢者サービスガイドブックの医療機関の情報について病院・診療所、歯科診療所、調剤薬局に確認し、修正加筆した。

ウ 相談窓口の広報・周知と後方支援

西予市内病院・診療所、調剤薬局を訪問し、相談窓口のチラシを配布、広報した。

4月有床医療機関連携室・包括連携会議、6月介護支援専門員連絡会にて事業の説明を行ない、その中で相談窓口の周知を行なった。

表1 医療介護連携に関する相談件数 (217 件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
本所件数	2	7	5	4	15	10	11	10	10	5	11	4
支所件数	8	8	11	8	8	7	7	12	7	8	12	9
合計件数	10	15	16	12	23	17	18	22	17	13	23	13

表2 医療介護連携に関する相談件数の相談先 (※相談受付表にて)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
医療機関	9	14	13	7	15	9	8	7	6	6	15	6
薬局	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
CM	0	0	0	0	2	2	3	1	2	0	0	0
本人・家族	1	1	2	4	6	4	6	9	6	6	2	4
行政	0	0	0	0	0	2	1	2	2	0	5	1
警察	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
住民	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	2
福祉事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

エ 八幡浜保健所管内の「退院支援ルールの手引き」について引き続き周知を行い、課題の把握と対応策を検討・実施。円滑な連携体制の支援を強化した。

【アンケート実施】

実施期間：令和4年12月 回収率：100%

対象者：介護支援専門員と有床病院地域連携室員

方法：退院支援ルールに関すること以外に満足度や連携のスムーズさ等も調査するよう、2種類のアンケートを作成。

結果：下記

- ・「専門職自身の満足度」は、「満足、やや満足している」と回答した人

→CM 83.3%、MSW 71.4%

- ・「医療・介護連携がうまくいっているか」は、「うまくいっている」と回答した人

→CM 92.4%、MSW 100%

- ・「サービス調整等に困った事例」の回答例

○退院の知らせがなかった事例

○退院支援カンファレンス時と退院時の状態に違いがあった事例

○急遽の退院のサービス調整を依頼され、看護要約サマリー等の病状や入院中の様子などの情報提供が無く情報収集が不十分なまま退院支援となった事例

- 急遽の退院になり、家族が希望する入所施設がみつからなかった事例
- 訪問介護や訪問看護等の介護サービス事業所がみつからなかった事例 等
 - ・「看取り期の支援で悩んだことなどは」の回答例
- 介護保険申請のタイミングによっては要支援となる場合が多く、サービスの調整や介護度区分変更申請のタイミングや介護予防のプランとしての作成に矛盾や苦慮をしている等の回答があった。
- ☞家族の介護力にも課題があり、介護サービスで補うことは難しい現状があり、対策や整備が必要である。

オ 多職種構成による研修会及び事例検討会の開催

【研修会】 1月17日 開催

演題：「看取り期の臨床経過及び意思決定支援について」

講師：訪問看護ステーション東宇和所長 小川口淳子氏

研修会後のアンケートより

- ☞ 看取りに関する意思決定支援のタイミングや方法で悩んでいるという意見もあり、継続的に研修会により知識習得の機会を設けるなどを行っていく。

カ 住民向け市民講座、出前講座（広報活動）

コロナ感染症拡大防止対策にて未実施

キ 『4つの場面』における連携推進を強化・深化

(ア)「入退院支援」の場面において

有床医療機関連携室・包括連携会議での事例検討会にてスムーズで一体的な医療・介護サービスが提供され、住民が希望する場所へ退院し、安心した生活が再開できるよう課題抽出・対応策検討する。

表3 退院支援カンファレンス出席件数（78件）（※日報にて、担当外もカウント）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
本所件数	0	8	5	0	4	2	3	6	1	0	2	7
支所件数	2	6	3	0	6	2	3	6	3	2	8	2
合計件数	2	11	8	0	10	4	6	12	4	2	10	9

表4 医療介護連携シート提出件数（108件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
本所件数	5	14	12	7	6	1	6	2	1	8	1	8
支所件数	0	4	2	1	5	7	1	3	2	5	2	5
合計件数	5	18	14	8	11	8	7	5	3	13	3	13

(イ) 「看取り」の場面において

「看取り」のカタチをつくる会にて住民が望む場所で安心して最期まで暮らすことができるよう看取りの支援のシステムづくりを行なう。住民への普及啓発や人生の最終段階における意思決定支援についても協議した。

緩和ケアコーディネーター・サポーターの会にて在宅緩和ケアの相談窓口となり、医療と介護をトータルでコーディネートするための活動内容の整備や技能習得のための勉強会を行った。

ク 事業担当者のスキルアップ

【オンライン研修会への参加】開催日：9月1日・2日

研修会：「いきがい・助け合いサミット in 東京」

内容：医療・介護の連携に関するテーマ「医療・介護サービスと生活支援の助け合い活動とのネットワークをどうつくるか」「在宅での人生の最終章の過ごし方及び看取りのあり方」を選択し、意識の醸成を図った。

ケ 他事業

(ア) 西予市在宅緩和ケア推進モデル事業

- ・事務局として、事業の推進等を運営委員会等で模索した。
- ・西予市在宅緩和ケア推進モデル事業の運営委員は 21 人

(運営委員会委員長：西予市医師会会長、副委員長は訪問看護ステーション東宇和所長、コーディネーター兼任)

- ・包括保健師：コーディネーターとして兼務。
- ・西予市コーディネーターは 5 人（8月～両公立病院 MSW 2人追加）
- ・ベテル病院の勉強会開催日
4月15日、5月13日、6月17日
- ・関係者へアンケート調査実施（n=76）
- ・関係者でオンライン協議

【開催日】：8月19日

アンケートの結果報告とモデル事業の実施の可否や今後の方向性について協議。

【結果】：隔月で、事例検討会 60分、運営委員会 30分開催決定。

西予市コーディネーターは 5 人。

(イ) 研修会等聴講

- 4月1日 八幡浜在宅緩和ケア症例検討会聴講
12月9日 八幡浜在宅医療研究会講演会「心不全の緩和ケア」聴講
- 野村病院主催 Web 研修聴講
4月26日「地域における西予市立野村病院の今後」
6月1日「地域で取り組む介護支援」
6月28日「地域で取り組む訪問看護」
7月27日「地域で取り組む総合診療活動」

- 8月31日「地域で取り組む心療内科」
- 9月21日「地域で取り組むコロナ対策の現状」
- 10月19日「西予市民病院地域連携の現状」
- 10月30日「褥瘡の最新情報」
- 11月21日「地域で取り組むフットケア」
- 2月1日「野村病院における新型コロナウイルス感染(COVID-19)のクラスターの影響を地域連携室から振り返る」
- 3月1日「つくし苑(老人保健施設)のリハビリテーション活動」

(ウ) 実習受け入れ対応

- 6月15日 愛媛大学医学部医学科学生 4人
- 9月5日～9日 愛媛大学医学部学生 12人
- 10月12日 愛媛大学医学部医学科学生 4人
- 11月9日 訪問看護師養成基礎講習会実習 2人
- 2月2日 介護支援専門員実習 1人

2 介護予防日常生活支援総合事業

《実施内容》

- ・ 自立支援のためのケアマネジメントの実践とサービスの適正な利用の推進を行う。
- ・ 本人の社会参加を視野に入れ、インフォーマルなサービスや地域の互助力による支援体制を組み込んだケアプランの作成
- ・ 包括的継続的ケアマネジメント業務とリンクし、社会資源の発見と地域課題の抽出を目的とした地域ケア会議の開催。

(1) 第1号介護予防支援事業(法第115条の45第1項第1号二)

《目的》基本チェックリスト該当者に対して、介護予防及び日常生活支援を目的として その心身の状況、置かれている環境そのほかの状況に応じて、その選択に基づき、訪問型サービス(第1号訪問事業)、通所型サービス(第1号通所事業)、その他生活支援サービス(第1号生活支援事業)等適切なサービスが包括的かつ効果的に提供されるよう援助を行う。

ア 事業対象者のケアマネジメント

- ・ 基準緩和Aデイサービス利用者・・・実施件数：1,268件
(基準緩和デイサービス利用者のプラン作成は99%包括が担当している)
- ・ 事業対象者(第1号介護予防支援対象者)・・・実施件数：2,706件
- ・ 基準緩和Aと第1号介護予防支援対象者の合計・・・実施件数：3,974件
- ・ 総数のうち、包括担当の実施件数：3,095件(77.9%)
- ・ 総数のうち、委託事業所担当の実施件数：879件(22.1%)

総数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1号介護予防支援（基準緩和デイ利用者）	包括担当件数	280	271	271	259	261	253	242	263	260	253	240	242
	委託担当件数	75	71	70	72	72	75	78	75	73	73	71	74
	総数	355	342	341	331	333	328	320	338	333	326	311	316

(2) 指定介護予防支援事業（法第115条22）

〔目的〕介護保険における予防給付の対象となる要支援者が、介護予防サービス等の適切な利用等を行うことができるよう、その心身の状況、その置かれている環境等を勘案し、介護予防サービス計画を作成するとともに、当該介護予防サービス計画に基づく指定介護予防サービス等の提供が確保されるよう、介護予防サービス事業者等の関係機関との連絡調整を行う。

業務の実施に当たっては、指定介護予防支援基準を遵守する。

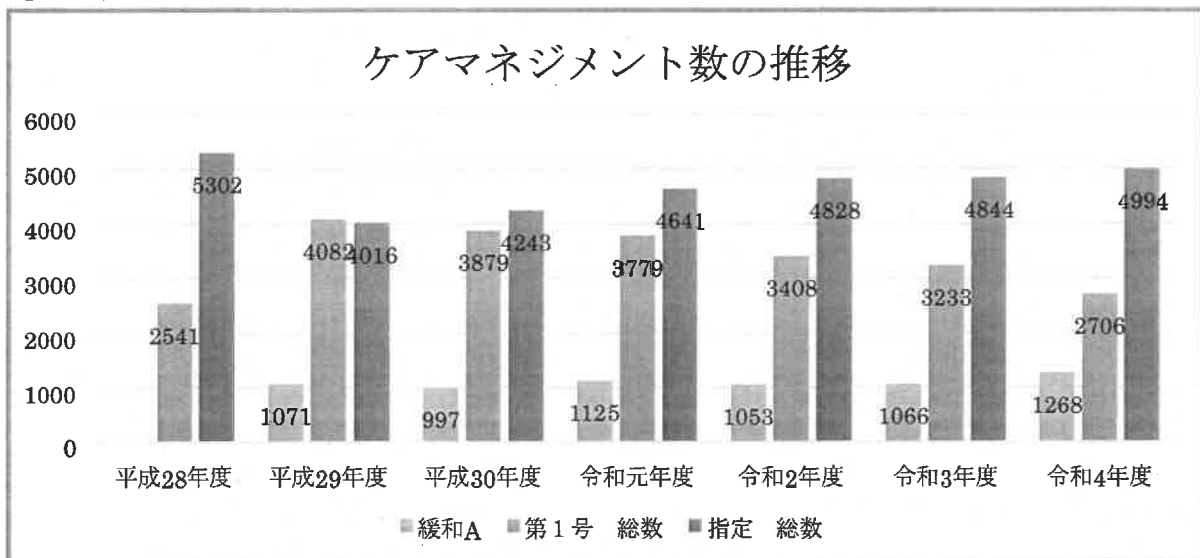
ア 要支援1・2の方へのケアマネジメント

- ・実施件数 4,994件総数のうち、包括担当の実施件数：3,032件（60.7%）
総数のうち、委託事業所担当の実施件数：1,962件（39.3%）

総数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
指定介護予防支援	包括担当件数	261	263	253	256	253	254	247	249	251	255	252	238
	委託担当件数	163	160	164	165	164	163	165	157	159	171	164	167
	総数	424	423	417	421	417	417	412	406	410	426	416	405

- ・要支援認定者のうち、要介護状態へ移行した数：124件（4.1%）

【資料】介護予防ケアマネジメント数の推移



- イ 要介護認定者で福祉用具購入あるいは住宅改修を希望する人に対しケアマネジメントの実施（ケアプラン作成無し）
 - ・福祉用具購入 20 件（前年比増減なし）
 - ・住宅改修 36 件（前年比 67%増）

3 介護予防の推進

《目的》高齢者ができるだけ要介護状態とならないための予防や、要支援状態の軽減、悪化防止の介護予防事業を積極的に取り組む。

《実施内容》

(1) 生活支援サービスの基盤整備事業

生活支援コーディネーターと共に医療・介護のサービス提供のみならず、地域住民、ボランティア、地区組織、シルバー人材センター、老人クラブ、商工会、民生児童委員等の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を図った。

ア「生活支援体制整備事業・一般介護予防事業作業部会」

- ・地域ケア推進会議（第1層）の Kategorii の一つとして市主催で開催、共生社会を意識した地域づくりの課題を検討している。
- ・第1層協議体への参加
- イ サービスの担い手など資源開発介護予防サポーター養成・活動支援（市・社協と協働）として、連絡会へ参加し、認知症カフェの立ち上げについて講話

(2) 元気な高齢者づくり事業

ア 保健事業との一体的な取り組み

KDB データベースに健康不明者の訪問活動及び一般質問票から認知機能低下者を把握し訪問調査を実施した。

ポピュレーションアプローチとして、集いの場や基準緩和デイ利用者に対し、フレイル予防の講話を行った。また、個別に健康調査と予防対策を実施した。

【新型コロナ感染症拡大防止対策について】

- ①県の感染症フェーズに合わせて事業を実施した。
- ②市役所からの情報提供により指示通り実施した。
- ③会議等の休会により紙面上での承認を得た。
- ④積極的にオンラインの活用を推進し連携強化を図った。
- ⑤三密回避を意識し、個別支援を強化した。
- ⑥クラウドシステム「kintone」を使って情報交換を円滑に行った。
- ⑦BCPを作成し、有事に備えた（備品の整理含む）。

【図①】

西予市クラウドシステム (地域包括ケアシステム構築を推進する為のツール)

